

消 防 年 報

令和4年版



弘前地区消防事務組合

令和5年8月発行

はじめに

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、3市3町2村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)を管轄する新たな弘前地区消防事務組合としてスタートしました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに令和3年中の消防業務等の実態を編集したものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和5年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

目 次

1 総務	
弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）	1
弘前地区消防事務組合管内図 及び消防本部等配置図	組合関係市町村の 面積・人口・世帯数 2
弘前地区消防事務組合組織図	3
消防本部及び消防署の事務分掌	4
消防庁舎一覧表	1 1
消防職員階級別配置状況	1 2
消防職員階級別年齢調	1 3
消防職員階級別勤続年数調	1 4
職員の免許資格取得状況	1 5
職員研修等実施状況	1 6
当初予算歳入歳出比較表	1 7
関係市町村負担金状況／消防予算等の推移（5ヶ年間）	1 8
2 予防	
市町村別防火対象物の状況	1 9
防火対象物の階級別状況	2 0
予防査察の実施状況	2 1
違反処理状況	2 2
防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況	2 3
訓練指導・講話・広報等状況／東消防署防災教育室利用状況	2 4
届出受付状況	2 5
令和4年度 避難行動要支援者防火防災診断実施状況	2 6
市町村別危険物施設の状況	2 7
危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況	2 8
危険物施設の推移（5ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数	2 9
危険物製造所等の処理状況	3 0
3 警防	
消防車両等の保有状況	3 1
車両配置状況	3 2
主要資機材配置状況	3 4
林野火災対策機材保有状況	3 5
消防水利状況（市町村別）	3 6
消防水利状況（所属別）	3 7
4 通信指令	
通信設備状況	3 9
1 1 9番通報状況（月別）	4 0
1 1 9番通報状況（時間帯別）	4 1
1 1 9番通報件数の推移（5ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／ 医療機関紹介状況（5ヶ年間）	4 2
5 火災	
令和4年における火災概要	4 3
火災の概況／火災の種別	4 4
住宅用火災警報器の普及	4 5
市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 6
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 8

出火原因の状況	4 9
月別発生状況	5 0
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数	5 1
市町村別、時間帯別の火災件数	5 2
覚知別火災件数	5 3
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況	5 4
6 救急	
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）	5 5
救急出動件数の推移（5ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）	5 6
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員	5 7
署別、事故種別救急業務実施状況	5 8
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員	5 9
事故種別、覚知方法別出動件数／現場到着所要時間別出動件数／ 収容所要時間別、事故種別搬送人員	6 0
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	6 1
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員	6 2
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況	6 3
津軽圏域救急告示医療機関一覧表	6 4
津軽地域小児救急病院等一覧表	6 5
医療機関別救急搬送状況	6 6
7 救助	
事故種別救助業務実施状況（対前年比）	6 7
8 消防団	
管内市町村消防団長	6 9
管内市町村消防副団長	7 0
管内市町村消防団車両配備状況	7 1
管内市町村階級別消防団員数	7 2
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数	7 3
管内市町村階級別消防団員年報酬	7 4
管内市町村消防団員出動手当	7 5
9 地域防災組織	
幼・少年消防クラブと婦人（女性）防火クラブ	7 7
令和4年度の活動状況	7 8
幼年消防クラブの状況	7 9
少年消防クラブの状況／婦人（女性）防火クラブの状況	8 1
弘前地区消防防災協会	8 2
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿	8 3
弘前地区消防防災協会事業	8 4
10 議会	8 5
11 付録	
明治以降の主な火災	8 9
明治以降の主な災害（火災を除く）	9 1
歴代消防長等	9 4
旧弘前地区消防事務組合の沿革	1 0 4
旧黒石地区消防事務組合の沿革	1 0 8
旧平川市消防本部の沿革	1 0 9
旧板柳町消防本部の沿革	1 1 0

総務

消防という選択肢。

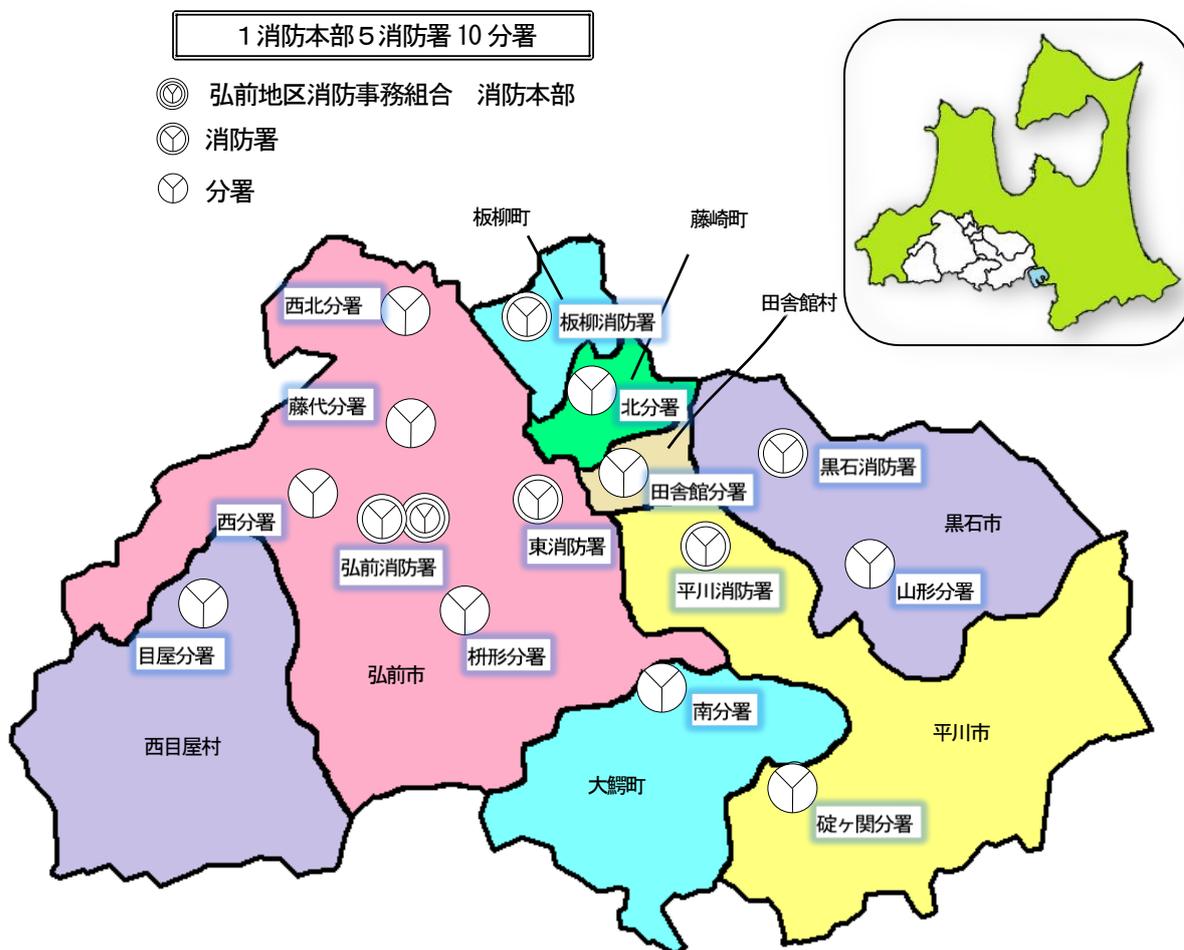


弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年 月	状 況
平成 25 年 7 月	<p>弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部の 4 消防本部が統合、関係市町村が 3 市 3 町 2 村、職員定数が 476 名となった。</p> <p>消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碓ヶ関分署」を「平川消防署碓ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碓ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。</p> <p>黒石消防署に指揮隊車を配備</p>
平成 26 年 3 月 4 月 5 月 12 月	<p>弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬 火けしくん」に決定</p> <p>消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部 5 課制とした。</p> <p>東消防署新消防庁舎での業務開始</p> <p>北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月 1 日全面供用開始）</p> <p>東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備</p>
平成 27 年 3 月 4 月 10 月	<p>東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を枳形分署から移動更新配備</p> <p>東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始</p> <p>高機能消防指令センター運用開始</p> <p>消防本部組織規則改正により通信指令課の「通信係」を「通信統制係」、「情報管理係」、「システム管理係」に改めた。</p>
平成 28 年 3 月	<p>黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から移動配備</p> <p>東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）</p>
令和 2 年 7 月	碓ヶ関分署新消防庁舎での業務開始
令和 3 年 2 月 3 月 4 月	<p>山形分署新消防庁舎での業務開始</p> <p>藤代分署新消防庁舎での業務開始</p> <p>板柳消防署消防新庁舎での業務開始</p> <p>消防本部組織規則改正により、人材育成課の、「人事係」を「人事研修係」へ、「研修厚生係」を「給与厚生係」と改め、警防課の「装備係」を廃止した。</p> <p>消防署組織規程改正により、藤代分署及び枳形分署の「予防救急係」を「予防係」「救急係」に改めた。</p> <p>弘前消防署に高度救助隊発足。</p>
令和 4 年 4 月	弘前・西北五地域消防通信指令事務協議会設置

弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

(令和5年4月1日現在)



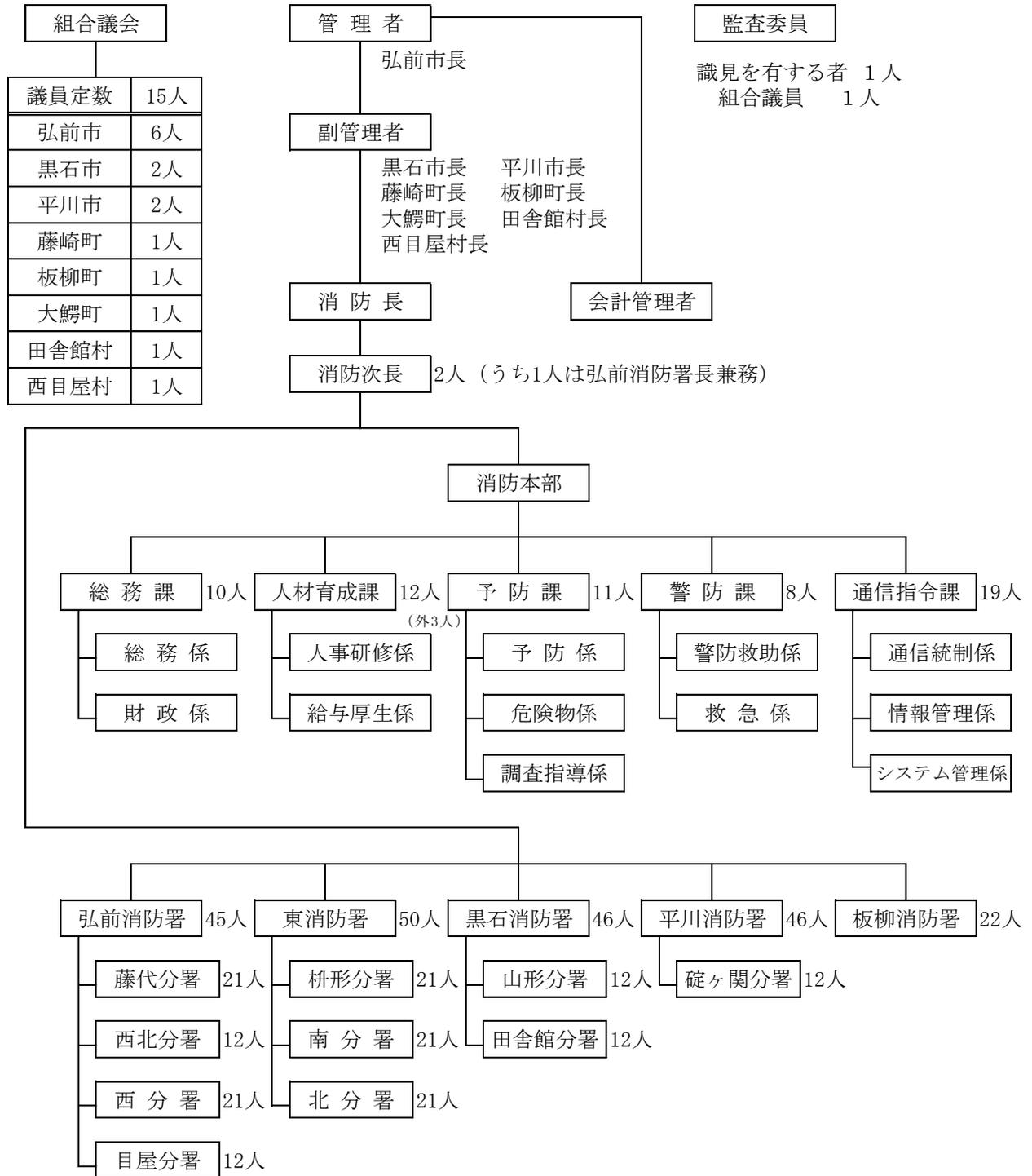
組合関係市町村の面積・人口・世帯数

(令和5年4月1日現在 住民基本台帳調)

市町村	区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
合 計		1,598.23	268,422	125,577
弘 前 市		524.20	162,740	80,239
黒 石 市		217.05	31,385	13,966
平 川 市		346.01	29,932	12,265
藤 崎 町		37.29	14,521	6,169
板 柳 町		41.88	12,587	5,435
大 鰐 町		163.43	8,606	4,108
田 舎 館 村		22.35	7,391	2,849
西 目 屋 村		246.02	1,260	546

弘前地区消防事務組合組織図

(令和5年4月1日現在)



※職員数は、令和5年4月1日現在の配置人員。

消防本部及び消防署の事務分掌

消防本部の事務分掌

総務課 総務係

- 1 消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 儀式及び行事に関する事。
- 3 物品等の調達に関する事。
- 4 庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関する事。
- 5 請負契約並びに物品の購入、修繕、検査及び処分に関する事。
- 6 契約の総括に関する事。
- 7 議会に関する事。
- 8 監査に関する事。
- 9 所属長の招集及び会議に関する事。
- 10 消防長会に関する事。
- 11 行政文書の開示に係る事務に関する事。
- 12 公印の管理に関する事。
- 13 文書事務の総括に関する事。
- 14 情報公開及び個人情報保護の取扱事務の総括に関する事。
- 15 条例、規則等の制定及び改廃の総括に関する事。
- 16 消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務の補助に関する事。
- 17 ホームページに関する事。
- 18 広聴及び広報の統括に関する事。
- 19 中長期計画の進行管理に関する事。
- 20 広域行政に関する事。
- 21 被服等の貸与、給与に関する事。
- 22 職員の意見発表に関する事。
- 23 消防年報に関する事。
- 24 所管を明らかにできない事務に関する事。
- 25 消防長の事務の補助に関する事。
- 26 消防署の所管に属しない事務に関する事。
- 27 その他総務に関する事。

総務課 財政係

- 1 財産の管理の総括に関する事。
- 2 予算、決算及び経理に関する事。
- 3 決算統計に関する事。
- 4 起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関する事。
- 5 消防施設の建設計画及び維持管理に関する事。
- 6 財政計画に関する事。
- 7 基金の統括管理に関する事。
- 8 公有財産の管理及び調整に関する事。

9 月例現金出納検査に関すること。

10 その他財政に関すること。

人材育成課 人事研修係

1 事務の調整に関すること。

2 消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関すること。

3 人事に関すること。

4 職員の採用試験に関すること。

5 消防職員委員会に関すること。

6 表彰、叙勲等に関すること。(他課が所管する事務に関するものを除く。)

7 人事記録に関すること。

8 人事評価に関すること。

9 職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関すること。

10 職員の交通事故、違反等及び不祥事に関すること並びに懲戒審査委員会に関する
こと。

11 職員の服務及び規律に関すること。

12 職員の研修企画及び研修派遣に関すること。

13 広聴及び広報に関すること。(他課が所管する事務に関するものを除く。)

14 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定
改廃に関するものを除く。)

15 その他人事・職員研修に関すること。

人材育成課 給与厚生係

1 職員の給与に関すること。

2 職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。

3 職員の保健、衛生、安全、元気回復及び厚生福利に関すること。

4 共済組合事務に関すること。

5 職員の公務災害補償等に関すること。

6 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定
改廃に関するものを除く。)

7 職員の旅行命令に関すること。

8 職員の退職手当に関すること。

9 職員の健康管理、予防接種に関すること。

10 再任用職員に関すること。

11 女性活躍推進に関すること。

12 団体保険に関すること。

13 その他給与厚生に関すること。

予防課 予防係

1 予防業務の企画調整及び調査研究に関すること。

2 建築確認等の同意事務に関すること。

3 消防用設備等の着工及び設置の届出に関すること。

- 4 防火管理及び防災管理に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管する事務に関するものを除く。)
- 6 防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関すること。
- 7 防火対象物工事等計画の指導に関すること。
- 8 その他予防業務に関すること。

予防課 危険物係

- 1 危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
- 2 危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
- 3 危険物施設の検査手数料等に関すること。
- 4 危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
- 5 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- 6 防災協会に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 8 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管する事務に関するものを除く。)
- 9 その他危険物業務に関すること。

予防課 調査指導係

- 1 立入検査及び違反処理に関すること。
- 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 3 広聴及び広報に関すること。(他課が所管する事務に関するものを除く。)
- 4 火災統計、報告に関すること。
- 5 防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
- 6 指定催しの計画、指導に関すること。
- 7 証明事務に関すること。
- 8 防火クラブ等に関すること。
- 9 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 10 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管所掌する事務に関するものを除く。)
- 11 その他調査指導業務に関すること。

警防課 警防救助係

- 1 警防救助業務、消防装備の企画調整及び調査研究に関すること。
- 2 警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 自動車及び消防機械器具の整備計画、技術指導及び管理並びに調査研究の総括に関すること。
- 4 自動車の運行管理及び安全管理等に関すること。
- 5 消防協力者及び消防職員表彰に関すること。

- 6 消防警戒区域立入許可証の交付等に関する事。
- 7 消防相互応援協定及び受援計画に関する事。
- 8 国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関する事。
- 9 消防団との連絡調整に関する事。
- 10 救助業務計画に関する事。
- 11 消防水利に関する事。
- 12 緊急消防援助隊に関する事。
- 13 警防救助に係る統計に関する事。
- 14 災害の指揮及び警防本部に関する事。
- 15 公用車の事故調査及び処理に関する事。
- 16 消防車両に係る国庫補助の申請に関する事。
- 17 開発行為に係る協議に関する事。
- 18 災害時の記録編纂に関する事。
- 19 消防力の整備指針に関する事。
- 20 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 21 広聴及び広報に関する事。(他課が所管する事務に関する事を除く。)
- 22 その他警防業務に関する事。

警防課 救急係

- 1 救急業務の企画調整及び調査研究に関する事。
- 2 救急業務計画に関する事。
- 3 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。
- 4 救急医療機関との連携調整に関する事。
- 5 応急手当の普及に関する事。
- 6 救急に係る統計に関する事。
- 7 救急車両に係る国庫補助の申請に関する事。
- 8 メディカルコントロール協議会に関する事。
- 9 搬送等証明書の指導、助言に関する事。
- 10 救急活動記録票の検証に関する事。
- 11 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所管する事務に関する事を除く。)
- 12 その他救急業務に関する事。

通信指令課 通信統制係

- 1 通信業務の基本方針及び調査研究に関する事。
- 2 出動指令業務に関する事。
- 3 通信施設の調査研究及び整備計画に関する事。
- 4 各種報告に関する事。
- 5 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)

- 6 その他通信統制に関すること。

通信指令課 情報管理係

- 1 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 2 火災警報の発令及び解除に関すること。
- 3 気象情報に関すること。
- 4 情報セキュリティー対策に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。（他課が所管する事務に関するものを除く。）
- 6 広聴及び広報に関すること。（他課が所管する事務に関するものを除く。）
- 7 その他情報管理に関すること。
- 8 消防通信指令事務共同運用に関すること。

通信指令課 システム管理係

- 1 通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 2 通信施設の維持管理に関すること。
- 3 情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
- 4 その他システム管理に関すること。

消防署の事務分掌

総務第1係、総務第2係（板柳消防署を除く。）

- 1 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項
- 2 公印の保管に関する事項
- 3 職員の教養及び服務に関する事項
- 4 庁舎管理及び環境整備に関する事項
- 5 時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
- 6 消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
- 7 他の係に属さない事項

警防救助第1係、警防救助第2係（板柳消防署を除く。）

- 1 職員の訓練及び安全管理に関する事項
- 2 消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
- 3 車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 現場指揮に関する事項
- 6 救助業務及び救助技術に関する事項
- 7 その他警防、救助に関する事項

救急第1係、救急第2係（板柳消防署を除く。）

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項

- 5 救急資器材の滅菌及び汚物処理に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他救急に関する事項

予防第1係、予防第2係（板柳消防署を除く。）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 消防用設備等の点検報告に関する事項
- 5 予防関係の証明に関する事項
- 6 その他予防に関する事項

調査指導第1係、調査指導第2係（板柳消防署を除く。）

- 1 火災調査に関する事項
- 2 火災の証明に関する事項
- 3 火災予防条例の届出等に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他調査指導に関する事項

総務警防第1係、総務警防第2係（板柳消防署に限る。）

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第1係、予防救急第2係（板柳消防署に限る。）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

分署の事務分掌

総務警防第1係、総務警防第2係

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第1係、予防救急第2係（藤代分署、柘形分署を除く。）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項

- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

予防第1係、予防第2係（杣形分署、藤代分署に限る。）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 予防関係の届出等に関する事項
- 3 火災調査に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他予防、調査指導に関する事項

救急第1係、救急第2係（杣形分署、藤代分署に限る。）

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項
- 5 その他救急に関する事項

消防庁舎一覽表

(令和5年4月1日現在)

名称	所在地	電話番号	面積 (㎡)		構造	竣工年月
			敷地面積	延面積		
消防本部	弘前市大字本町2番地1	(代)0172(32)5101	2,274.69	3,819.44	SRC造 地下1階 地上4階 塔屋1階	H13.3
弘前消防署		0172(32)5199				
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字石渡三丁目 6番地3	0172(34)1317	2015.52	626.79	鉄骨造 平屋建	R3.2
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371番地2	0172(93)3310	989.52	495.00	鉄骨造一部2階建	S56.12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301番地2	0172(82)3311	(5,012.07)	626.73	鉄骨造 平屋建	H24.3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田56番地	0172(85)3119	(1,854.58)	354.24	鉄骨一部木造 一部 2階建	H11.3
				(136.54)		
東消防署	弘前市大字城東中央五丁目 6番地11	0172(27)1151	3,081.15	2,018.19	鉄骨造 4階建	H26.12
東消防署 柘形分署	弘前市大字豊原一丁目 3番地9	0172(33)4311	415.09	380.54	鉄骨造 一部2階建	H3.2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂57番地1	0172(48)2108	1,668.24	408.50	木造一部鉄骨造 平 屋建	S61.3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田7番地3	0172(75)3333	(2,686.16)	(626.68)	鉄骨造 平屋建	H26.12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576番地	0172(53)1000	(6,904.93)	(2,958.83)	SRC造 2階建	H7.6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 9番地2	0172(54)8330	(1,670.16)	(427.60)	鉄骨造 平屋建	R3.1
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古館206番地1	0172(58)2962	(1,156.50)	(417.81)	鉄骨造 平屋建	H7.11
平川消防署	平川市平田森前田 331番地	0172(44)3122	(5,554.00)	(1,807.00)	鉄骨造 2階建	H2.2
平川消防署 碓ヶ関分署	平川市碓ヶ関湯向川添 31番地9	0172(45)2240	(1,864.24)	(563.36)	鉄骨造 平屋建	R2.6
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 福野田字増田60番地6	0172(73)2339	(3,226.32)	(784.88)	鉄骨造 平屋建	R3.3

※延面積は庁舎のみ。()は、所在市町村所有である。

消防職員階級別配置状況

(令和5年4月1日現在)

階級 所 属	現 員	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	436(15)	1	6	11	70(1)	109(1)	136(4)	24(3)	79(6)
消 防 本 部	62(3)	1	1	7	16(1)	21	14(1)	1(1)	1
総 務 課	12(1)	1	1	1	3	4	2(1)		
人 材 育 成 課	12			2	2	4	3		1
予 防 課	11(1)			1	3	4	2	1(1)	
警 防 課	8(1)			2	2(1)	3	1		
通 信 指 令 課	19			1	6	6	6		
弘 前 消 防 署 管 轄	111(5)		1	1	16	28	36(2)	7(1)	22(2)
弘 前 消 防 署	45(2)		1	1	8	10	16(1)	2	7(1)
藤 代 分 署	21(2)				2	6	6(1)	3(1)	4
西 北 分 署	12				2	4	4		2
西 分 署	21(1)				2	4	6	1	8(1)
目 屋 分 署	12				2	4	4	1	1
東 消 防 署 管 轄	113(3)		1	1	14	24(1)	36	8	29(2)
東 消 防 署	50(2)		1	1	8	10	18	3	9(2)
柘 形 分 署	21				2	6	6	1	6
南 分 署	21				2	4	6	2	7
北 分 署	21(1)				2	4(1)	6	2	7
黒 石 消 防 署 管 轄	70(1)		1	1	12	18	24	3	11(1)
黒 石 消 防 署	46(1)		1	1	8	10	16	2	8(1)
山 形 分 署	12				2	4	4		2
田 舎 館 分 署	12				2	4	4	1	1
平 川 消 防 署 管 轄	58(2)		1	1	10	14	20	4(1)	8(1)
平 川 消 防 署	46(2)		1	1	8	10	16	4(1)	6(1)
碓 ヶ 関 分 署	12				2	4	4		2
板 柳 消 防 署	22(1)		1		2	4	6(1)	1	8

※短時間再任用職員は含まず。()は、女性消防職員。

消防職員階級別年齢調

(令和5年4月1日現在)

区 分 年 齢	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	436	1	6	11	70	109	136	24	79
18 歳	3								3
19 "	3								3
20 "	6								6
21 "	9								9
22 "	10								10
23 "	5								5
24 "	5								5
25 "	6								6
26 "	13								13
27 "	15							8	7
28 "	2							1	1
29 "	9							3	6
30 "	15						11	2	2
31 "	13						9	3	1
32 "	5						2	3	
33 "	20						17	2	1
34 "	11						10		1
35 "	15						15		
36 "	10						9	1	
37 "	21					2	19		
38 "	8					1	7		
39 "	6					2	4		
40 "	3					1	2		
41 "	11					5	6		
42 "	8					1	7		
43 "	11					7	4		
44 "	11					7	4		
45 "	12					10	2		
46 "	16					15	1		
47 "	21					17	4		
48 "	18				3	11	3	1	
49 "	23				11	12			
50 "	14				9	5			
51 "	15			2	9	4			
52 "	18			1	13	4			
53 "	4			1	2	1			
54 "	6			1	2	3			
55 "	13			3	9	1			
56 "	7		1		6				
57 "	2		1		1				
58 "	5	1		1	3				
59 "	8		4	2	2				
平均年齢	39.8	58	58.2	54.7	52.3	46.5	36.6	30.4	24.2

※短時間再任用職員は含まず。

消防職員階級別勤続年数調

(令和5年4月1日現在)

年 齢	区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		436	1	6	11	70	109	136	24	79
1 年 未 満		12								12
1年 以上 2年 未満		11								11
2年 " 3年 "		11							1	10
3年 " 4年 "		9								9
4年 " 5年 "		5								5
5年 " 6年 "		5								5
6年 " 7年 "		9								9
7年 " 8年 "		10								10
8年 " 9年 "		10						2		8
9年 " 10年 "		26						6	20	
10年 " 11年 "		0								
11年 " 12年 "		13						12	1	
12年 " 13年 "		24						23	1	
13年 " 14年 "		23						23		
14年 " 15年 "		5					1	4		
15年 " 16年 "		24					2	22		
16年 " 17年 "		4					1	3		
17年 " 18年 "		14					2	12		
18年 " 19年 "		0								
19年 " 20年 "		8					3	5		
20年 " 21年 "		4						4		
21年 " 22年 "		10					7	3		
22年 " 23年 "		2					2			
23年 " 24年 "		13				1	8	4		
24年 " 25年 "		5					3	2		
25年 " 26年 "		4					2	2		
26年 " 27年 "		16				2	12	2		
27年 " 28年 "		20				6	12	2		
28年 " 29年 "		31				8	22	1		
29年 " 30年 "		17		1		4	8	3	1	
30年 " 31年 "		18			2	8	7	1		
31年 " 32年 "		17			1	9	7			
32年 " 33年 "		16			1	11	4			
33年 " 34年 "		10			2	4	4			
34年 " 35年 "		4				3	1			
35年 " 36年 "		4		1	1	1	1			
36年 " 37年 "		4	1		1	2				
37年 " 38年 "		8		1	1	6				
38年 " 39年 "		6		2		4				
39年 " 40年 "		2			1	1				
40年 " 41年 "		2		1	1					
平 均 年 数		19.1	36.0	36.2	34.2	31.5	26.5	15.4	9.8	3.7

※短時間再任用職員は含まず。

職員の免許資格取得状況

(令和5年4月1日現在)

免許別	階級別	計	消	消	消	消	消	消	消	消
			防	防	防	防	防	防	防	防
			正	監	司	司	司	士	副	防
			監	監	長	令	令	長	士	士
機械 運転・ 操作・ 整備 関係	大型自動車	295		5	7	63	89	107	15	9
	中型自動車	140			1	1	14	81	21	22
	中型自動車8t限定	260	1	6	10	68	101	72	2	
	準中型自動車	3						1		2
	準中型自動車5t限定	129			1		4	64	21	39
	大型特殊自動車	77		1	2	13	30	25	3	3
	けん引	4				2	1	1		
	自動二輪 (大型)	38		1	2	9	11	11		4
	自動二輪 (中型)	135	1	2	8	25	38	40	6	15
	三級整備士 (シャシ)	2			2					
	玉掛技能	163		1	5	36	47	66	6	2
	移動式クレーン運転業務	169		1	5	37	49	70	6	1
	クレーン運転業務	17				2	2	13		
	小型船舶操縦士 (2級)	46			2	16	17	9	1	1
	車両系建設機械 (整地等)	47			2	9	17	16	2	1
	車両系建設機械 (解体)	32			1	5	12	11	2	1
	小型車両系 (整地)	26				1	7	11	3	4
整備管理者選任前研修修了者 (整備士含む)	10				4	6				
通信 関係	第一級陸上特殊無線技士	1				1				
	第二級陸上特殊無線技士	253	1	6	10	62	101	68	3	2
	第三級陸上特殊無線技士	166			1	7	7	68	21	62
	第三級アマチュア無線技士	1					1			
	第四級アマチュア無線技士	8		1	1	1	5			
予防 関係	予防技術資格者(防火査察専門員)	99		2	2	10	26	42	5	12
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)	36				7	9	18		2
	予防技術資格者(危険物専門員)	31			1	3	7	14	1	5
	危険物取扱者 (甲)	4				2		2		
	危険物取扱者 (乙三)	16				1	2	10		3
	危険物取扱者 (乙四)	86			2	9	16	27	6	26
	危険物取扱者 (丙)	24		2		7	7	6	1	1
	消防設備士 (甲四)	2				1			1	
	消防設備士 (乙六)	17				3	4	7	1	2
消防設備士 (乙七)	2						2			
救急 関係	指導救命士	9				3	6			
	救急救命士	117		2	4	26	29	41	1	14
	気管挿管認定救命士	102		2	4	25	30	35	1	5
	薬剤投与認定救命士	109		2	3	24	30	41	1	8
	処置拡大2行為	106			2	24	30	41	1	8
	救急標準課程又は救急科	332		2	4	41	95	123	23	44
	救急I課程	60	1	5	7	33	14			
	救急II課程	54	1	4	7	29	13			
応急手当指導員	402		3	10	67	108	136	24	54	
その 他	潜水土	43			2	6	11	15	2	7
	第二種酸素欠乏危険作業主任者	135		1	4	30	49	46	2	3
	特定化学物質等作業主任者	58		2	6	22	24	4		
	衛生管理者	7		1		3	1	2		
	ガス溶接技能	80			4	24	31	19	1	1
	電気工事士 (二種)	7		1			2	3		1
	ボイラー技士 (二級)	10		2			3	2	1	
火薬取締保安責任者	1						1			

職員研修等実施状況

(令和5年4月1日現在)

学校教育

課題		対象	回数	期間	人員
消防 大学 校	救助科	消防司令補	1	R4.4.12 ~ R4.6.3	1
	幹部科	消防司令補	1	R4.6.6 ~ R4.7.21	1
	救急科	消防司令補	1	R4.9.28 ~ R4.10.28	1
	NBCコース	消防司令補	1	R5.3.2 ~ R5.3.15	1
	高度救助・特別高度救助コース	消防司令補	1	R5.2.1 ~ R5.2.21	1
県 消 防 学 校	初任総合教育	新任採用者	1	R4.4.6 ~ R4.9.29	10
	山岳遭難救助訓練	弘署・黒署	2	R4.7.12 ~ R4.7.13	8
	専科教育「救助科」特別聴講 (Zoom)	全階級	1	R4.7.10	5
	緊急走行研修	採用15年以下職員	2	R4.7.17 ~ R4.7.24	6
	実火災体験型訓練 (一部中止)	全階級	2	R4.8.2 ~ R4.8.3	6
	特別聴講 (警防科)	全階級	1	R4.10.19	2
	交通事故等車両破壊訓練	全階級	1	R4.7.16	4
	土砂災害救助訓練	全階級	1	R4.11.11	3
	特別講義聴講 (救急科)	全階級	1	R4.11.11	2
	特別講義聴講 (警防科)	司令補以上	1	R4.10.19	2
	特別講義聴講 (特殊災害科)	司令補以上	1	R5.1.20	5
	特別講義聴講 (中級幹部科)	司令補以上	3	R5.1.25 ~ R5.1.27	7
	特別講義聴講 (予防査察科)	全階級	1	R5.2.15	3
	特別講義聴講 (火災調査科)	全階級	1	R5.3.7	3
	救助科	全階級	1	R4.10.3 ~ R4.10.31	4
	警防科	消防士長以上	1	R4.10.17 ~ R4.10.28	4
	特殊災害科	消防士長以上	1	R5.1.12 ~ R5.1.20	5
	中級幹部科	消防司令補以上	1	R5.1.23 ~ R5.1.31	3
	予防査察科	全階級(5年以上)	1	R5.2.6 ~ R5.2.17	5
	火災調査科	全階級(5年以上)	1	R5.2.27 ~ R5.3.10	5

研 修

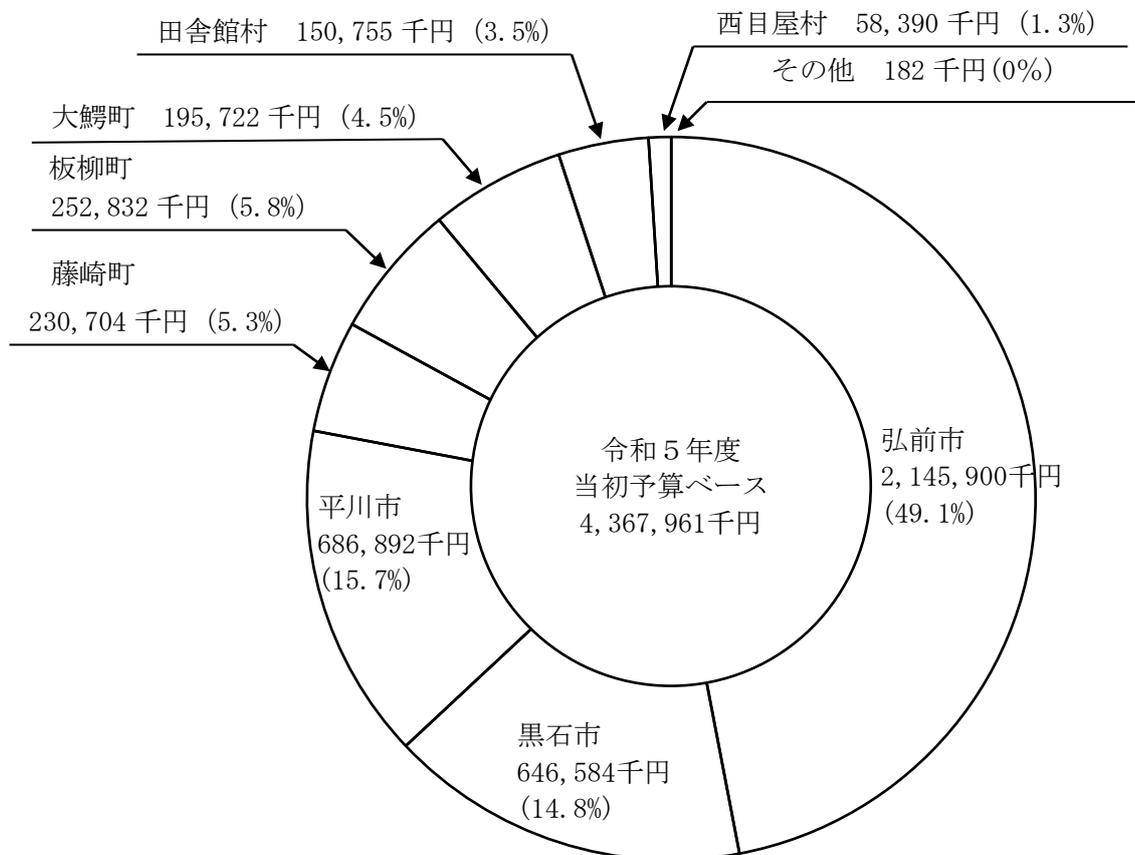
課題		対象	回数	期間	人員
弘 前 市 研 修	人事評価制度・目標設定研修	新任消防司令長	1	R4.4.20	3
	ストレスケア研修	全階級	1	R4.5.24	5
	ハラスメント防止研修	司令補以上	1	R4.9.28	3
	アンガーマネジメント研修	消防司令補以上	1	R4.10.28	1
	クレーム対応力向上研修	全階級	1	R4.11.10	3
	仕事の段取り力向上研修	全階級	1	R4.12.22	1
	法制執務研修Ⅱ	全階級	1	R5.1.11	5
県 自 治 研 修 所	法政執務研修	全階級	1	R4.6.28 ~ R4.6.29	2
	ICT人材育成研修	全階級	1	R4.7.11 ~ R4.7.12	5
	リスクマネジメント研修	消防司令補以上	1	R4.10.11	1
	交渉力向上研修	全階級	1	R4.12.5 ~ R4.12.6	2
	独創力の鍛え方・コンセプトの作り方研修	全階級	1	R4.12.8 ~ R4.12.9	5
	職場の業務の見直し・スリム化研修	全階級	1	R4.12.19	2
東北自治 研修所	クレーン対応研修	全階級	1	R4.12.21 ~ R4.12.22	3
	0JT指導者養成研修	消防司令補以上	1	R4.5.18 ~ R4.5.20	1
市町村 アカデ ミー	J K E T 研修	消防司令補	1	R4.6.15 ~ R4.6.17	1
	行政のデジタル化の推進	消防司令	1	R4.6.20 ~ R4.6.24	1
	地方公会計制度	消防司令補	1	R4.7.11 ~ R4.7.15	1
その他	訴訟と行政不服審査の実務	消防司令	1	R4.12.12 ~ R4.12.16	1
	ビデオ喉頭鏡実習	救急救命士	1	R4.7.4 ~ R4.9.9	6
	指導救命士養成研修 (九州研修所)	消防司令補	1	R4.7.12 ~ R4.8.24	1
	東北救急医学会総会(福島県会津若松市)	全階級	1	R4.7.15 ~ R4.7.16	1
	予防技術講習会 (東京都)	消防司令補	1	R4.7.22	1
	予防調査技術会議 (仙台市)	消防司令補	1	R4.9.15 ~ R4.9.16	1
	全国消防長会東北支部救急実務講習会(ハイブリッド方式)	全階級	1	R4.9.29 ~ R4.9.30	171
	全国消防長会東北支部警防実務研修会 (福島県)	消防士長	1	R4.10.21	2
	危険物等事故防止講習会 (福島市)	全階級	1	R4.11.1 ~ R4.11.2	1
	違反是正の推進に係る実務研修(仙台市)	全階級	1	R4.11.14 ~ R4.11.18	1
	青森県消防長会予防業務研修会 (八戸市)	全階級	1	R4.11.25	1
	消防庁 NBC災害対応教養訓練(千葉県)	弘署・平署	1	R4.12.22	1
	全国消防長会予防・広報委員会	全階級	1	R4.11.14 ~ R4.11.15	2
	札幌市消防局指揮体制の視察研修	消防司令以上	1	R5.1.26 ~ R5.1.27	1
	平成4年度MC協議会連絡会 (広島市)	警防課	1	R5.1.27	1
	救急救命士生涯教育	救急救命士	1	R4.11~R5.3 (4日間)	90

当初予算歳入歳出比較表

(単位：千円)

区 分		令和5年度		令和4年度		増減額
		予算額	構成比%	予算額	構成比%	
歳 入	1 分担金及び負担金	4,367,961	92.9	4,128,638	94.5	239,323
	2 使用料及び手数料	1,506	0.0	1,506	0.0	0
	3 財産収入	126	0.0	117	0.0	9
	4 繰入金	135,483	2.9	52,000	1.2	83,483
	5 繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	6 諸収入	12,512	0.3	13,254	0.3	△742
	7 組合債	183,700	3.9	172,800	4.0	10,900
	合 計	4,702,288	100.0	4,369,315	100.0	332,973
歳 出	1 議会費	1,297	0.0	3,517	0.1	△2,220
	2 総務費	599	0.0	379	0.0	220
	3 消防費	4,150,743	88.3	3,860,734	88.4	290,009
	4 公債費	467,755	10.0	423,550	9.7	44,205
	5 基金積立金	80,894	1.7	80,135	1.8	759
	6 予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,702,288	100.0	4,369,315	100.0	332,973
性 質 別 歳 出	人件費	3,430,422	73.0	3,256,693	74.5	173,729
	物件費	410,514	8.7	360,384	8.3	50,130
	維持補修費	1,794	0.0	1,110	0.0	684
	扶助費	50,310	1.1	47,205	1.1	3,105
	補助費等	17,928	0.4	17,950	0.4	△22
	普通建設事業費	241,671	5.2	181,288	4.2	60,383
	公債費	467,755	9.9	423,550	9.7	44,205
	積立金	80,894	1.7	80,135	1.8	759
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,702,288	100.0	4,369,315	100.0	332,973

関係市町村負担金状況



消防予算等の推移 (5ヶ年間)

年 度	消防予算 (千円)	一世帯当り (円)	住民一人当り (円)
令和元年度	4,620,676	37,142	16,360
令和2年度	4,937,109	39,550	17,685
令和3年度	4,561,124	36,406	16,530
令和4年度	4,369,315	34,879	16,056
令和5年度	4,702,288	37,445	17,518

予 防



市町村別防火対象物の状況

(令和5年4月1日現在)

用途別		市町村別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
			計	前	石	川	崎	柳	鰐	舎	目
				市	市	市	町	町	町	館	屋
				村						村	村
合計			10,412	6,886	1,161	878	459	450	295	220	63
1	イ	劇場・映画館等	18	8	3	2	3		1	1	
	ロ	公会堂・集会場	381	171	47	66	26	29	19	18	5
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	16	5		2	1	1		
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等	4	4							
3	イ	待合・料理店等	3	1	2						
	ロ	飲食店	421	302	54	26	14	12	5	7	1
4		百貨店・マーケット等	440	293	55	30	21	25	9	7	
5	イ	旅館・ホテル	235	106	58	9		9	29	12	12
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,525	2,172	155	87	46	36	15	12	2
6	イ	病院・診療所等	240	172	24	15	10	9	6	4	
	ロ	老人福祉施設等	264	158	31	20	13	16	14	10	2
	ハ	デイサービス等	402	253	42	36	21	14	24	11	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	23	18	4		1				
7		小・中・高・大・各種学校等	324	240	16	34	13	14	3	2	2
8		図書館・博物館等	19	8	4	3	1	1		2	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	34	14	2	11	1	1	1	1	3
10		車両の停車場	2		1			1			
11		神社・寺院・教会等	188	118	18	12	13	14	10	3	
12	イ	工場・作業場	1,059	557	161	129	52	58	38	58	6
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車庫庫・駐車場	198	106	29	30	9	13	6	4	1
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	1,360	732	163	164	135	91	38	29	8
15		前各項に該当しない事業所	1,003	597	135	121	39	39	32	26	14
16	イ	特定を含む複合用途	778	531	84	60	27	31	32	8	5
	ロ	非特定の複合用途	387	250	57	22	12	28	12	5	1
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	79	59	11	1		8			
18		アーケード									

※ 1 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

2 単位：棟

防火対象物の階数別状況

(令和5年4月1日現在)

用途別	階数別	対 象 物 数	階数別対象物数																		
			地 階 の み	1 ～ 2 階	3 階	計	中高層建築物														
							4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階			
合計		10,412	1	9,245	772	394(29)	221	70	35	16	10(3)	7(4)	10(3)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	7(6)			
1	イ 劇場・映画館等	18		14	4																
	ロ 公会堂・集会場	381		373	5	3	3														
2	イ キャバレー等																				
	ロ 遊技場・ダンスホール	25		22	2	1	1														
	ハ 性風俗関連店舗 ニ カラオケボックス等	4		4																	
3	イ 待合・料理店等	3		2	1																
	ロ 飲食店	421		398	13	10	3	6	1												
4	百貨店・マーケット等	440		422	17	1	1														
5	イ 旅館・ホテル等	235		195	15	25(5)	7	5	2	3	2	2(2)	2(1)		1(1)		1(1)				
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	2,525		2,152	208	165(14)	101	23	7	3	3	3(1)	6	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	7(6)			
6	イ 病院・診療所等	240		190	24	26(1)	10	8	6	1			1(1)								
	ロ 老人福祉施設等	264		237	16	11	8	1	1	1											
	ハ デイサービス等	402		379	16	7	1	5	1												
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	23		19	3	1	1														
7	小・中・高・大・各種学校等	324		199	91	34(2)	21	5	5		2(1)			1(1)							
8	図書館・博物館等	19		18		1		1													
9	イ 蒸気浴場等																				
	ロ 公衆浴場等	34		34																	
10	車両の停車場	2		2																	
11	神社・寺院・教会等	188		174	13	1	1														
12	イ 工場・作業場	1,059		1,037	16	6	4	1	1												
	ロ スタジオ等																				
13	イ 自動車車庫・駐車場	198	1	187	5	5	1	2	1	1											
	ロ 特殊格納庫																				
14	倉庫	1,360		1,338	21	1		1													
15	前各項に該当しない事業所	1,003		859	99	45(1)	29	7	6	2		1(1)									
16	イ 特定を含む複合用途	778		605	137	36(5)	22	2	1	4	3(2)	1			1(1)	1(1)	1(1)				
	ロ 非特定の複合用途	387		312	60	15(1)	7	3	3	1			1(1)								
16の2	地下街																				
16の3	準地下街																				
17	文化財	79		73	6																
18	アーケード																				

※ 1 ()内は、内書きで高さ31mを超える高層建築物を計上。
 2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。
 3 単位：棟

予防査察の実施状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

用途別		市町村別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合計			2,667	1,762	289	232	107	125	73	66	13
1	イ	劇場・映画館等	7	3	2				1	1	
	ロ	公会堂・集会場	79	41	7	5	3	6	7	8	2
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	7	3		1				
	ハ	性風俗関連店舗									
3	イ	待合・料理店等	1		1						
	ロ	飲食店	139	114	12	4	1	4	3	1	
4		百貨店・マーケット等	104	81	10	4	3	3	2	1	
5	イ	旅館・ホテル等	90	63	13	2		2	8		2
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	344	264	33	15	12	13	2	5	
6	イ	病院・診療所等	65	49		10	3	3			
	ロ	老人福祉施設等	53	28	2	5	4	4	1	8	1
	ハ	デイサービス等	78	44	5	13	4	4	7	1	
ニ		幼稚園・特別支援学校等	8	8							
		小・中・高・大・各種学校等	81	66		5	3	4	2	1	
7		図書館・博物館等	8	4	1	1	1	1			
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	9	6	1	2					
10		車両の停車場	2		1						1
11		神社・寺院・教会等	71	47	3	6	2	10	3		
12	イ	工場・作業場	310	162	47	43	13	11	10	23	1
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	57	35	6	10	2	3		1	
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	452	249	61	64	40	20	10	6	2
15		前各項に該当しない事業所	271	177	32	22	8	16	7	7	2
16	イ	特定を含む複合用途	239	175	28	16	4	4	8	2	2
	ロ	非特定の複合用途	107	78	10	4	3	9	2	1	
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	79	59	11	1		8			
18		アーケード									

※ 単位：棟

違反処理状況

年度	警告	命令	告発	特例認定の取消
平成30年度	4	1	—	—
令和元年度	21	2	—	—
令和2年度	5	6	—	—
令和3年度	2	2	—	1
令和4年度	2	2	—	—

※ 単位：件



防火管理者資格取得状況

年別	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
人数	286	294	206	233	380

防火管理者選任及び消防計画届出状況

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

用途別		区 分	義務対象物件数	防火管理者選任 届出対象物件数		消防計画作成 届出対象物件数	
					選任率%		作成率%
合 計			2,418	2,334	97	2,322	96
1	イ	劇場・映画館等	11	11	100	11	100
	ロ	公会堂・集会場	209	204	98	202	97
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	24	96	24	96
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	4	4	100	4	100
3	イ	待合・料理店等	3	3	100	3	100
	ロ	飲食店	243	215	88	211	87
4		百貨店・マーケット等	296	287	97	287	97
5	イ	旅館・ホテル等	70	69	99	69	99
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	91	89	98	86	95
6	イ	病院・診療所等	76	76	100	75	99
	ロ	老人福祉施設等	192	190	99	190	99
	ハ	デイサービス等	211	209	99	209	99
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	17	17	100	17	100
7		小・中・高・大・各種学校等	119	119	100	119	100
8		図書館・博物館等	7	7	100	7	100
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等	26	26	100	26	100
10		車両の停車場					
11		神社・寺院・教会等	116	116	100	116	100
12	イ	工場・作業場	69	68	99	68	99
	ロ	スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	特殊格納庫					
14		倉庫	13	12	92	12	92
15		前各項に該当しない事業所	217	210	97	210	97
16	イ	特定を含む複合用途	359	337	94	335	93
	ロ	非特定の複合用途	26	25	96	25	96
16 の 2		地下街					
16 の 3		準地下街					
17		文化財	18	16	89	16	89

※ 単位：件

訓練指導・講話・広報等状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

		消 防 訓 練	防 火 講 話	消 防 施 設 見 学	火 災 予 防 広 報	合 計
消 防 本 部	回数	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0
弘 前 消 防 署 管 轄	回数	23	5	26	302	356
	人員	1,805	352	692	891	3,740
東 消 防 署 管 轄	回数	28	3	79 (81)	237	347 (81)
	人員	2,214	17	1,991 (2,014)	789	5,011 (2,014)
黒 石 消 防 署 管 轄	回数	19	1	25	214	259
	人員	1,873	30	278	641	2,822
平 川 消 防 署 管 轄	回数	21	4	13	144	182
	人員	2,103	391	242	437	3,173
板 柳 消 防 署	回数	9	1	2	60	72
	人員	823	196	53	201	1,273
合 計	回数	100	14	145 (81)	957	1,216 (81)
	人員	8,818	986	3,256 (2,014)	2,959	16,019 (2,014)

※ ()内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

東消防署防災教育室利用状況

年 度	件 数	利用者数	体 験 内 容						延 べ 時 間
			消 火	煙	地 震	応 急 手 当	そ の 他	庁 舎 見 学	
30年度	95件	2,247人	93件	93件	93件	20件	4件	92件	135時間10分
元年度	101件	2,811人	82件	89件	88件	17件	17件	95件	137時間10分
2年度	33件	854人	28件	30件	30件	1件	1件	33件	41時間20分
3年度	34件	842人	32件	32件	32件	1件	0件	34件	52時間40分
4年度	81件	2,014人	74件	78件	77件	5件	3件	73件	99時間40分

届出受付状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	防火管理者 選解任	消防計画 作成変更	改修報告	防火対象物 使用開始届	消防用設備 等点検報告	変電設備等	その他	消防同意	合計
4月	107	206	26	15	256	0	16	24	650
5月	51	71	11	11	284	3	16	30	477
6月	62	78	46	10	486	3	24	30	739
7月	66	67	137	9	462	3	38	21	803
8月	43	49	198	13	374	2	17	24	720
9月	56	71	158	18	551	2	30	30	916
10月	63	64	212	16	460	10	38	27	890
11月	30	37	127	21	510	9	16	17	767
12月	23	26	45	20	287	1	9	11	422
1月	21	23	12	12	228	3	4	11	314
2月	17	22	29	8	198	3	7	17	301
3月	42	49	22	14	238	6	0	20	391
合計	581	763	1,023	167	4,334	45	215	262	7,390

※ 1 「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出

2 単位：件

令和4年度 避難行動要支援者防火防災診断実施状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	対象 世帯	実施 世帯	未実施世帯							
			内 訳							
			死 亡	入 院	入 園	拒 否	転 居	対象外	不 在	
合 計	1,408	660	748	40	37	147	85	18	147	274
弘 前 市	633	350	283	7	14	57	17	8	35	145
黒 石 市	144	71	73	8	2	16	23	1	5	18
平 川 市	288	71	217	17	14	36	31	4	79	36
藤 崎 町	56	27	29	2	0	10	1	0	3	13
板 柳 町	69	23	46	3	1	12	0	3	13	14
大 鰐 町	208	114	94	3	6	16	13	2	9	45
田 舎 館 村										
西 目 屋 村	10	4	6	0	0	0	0	0	3	3
備 考										
指導状況										
・住宅用火災警報器未設置に対する指導								247 件		
・喫煙の状況等に関する指導								26 件		
・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導								20 件		
・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導								6 件		

※ 単位：世帯

※ 田舎館村については新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とする。

市町村別危険物施設の状況

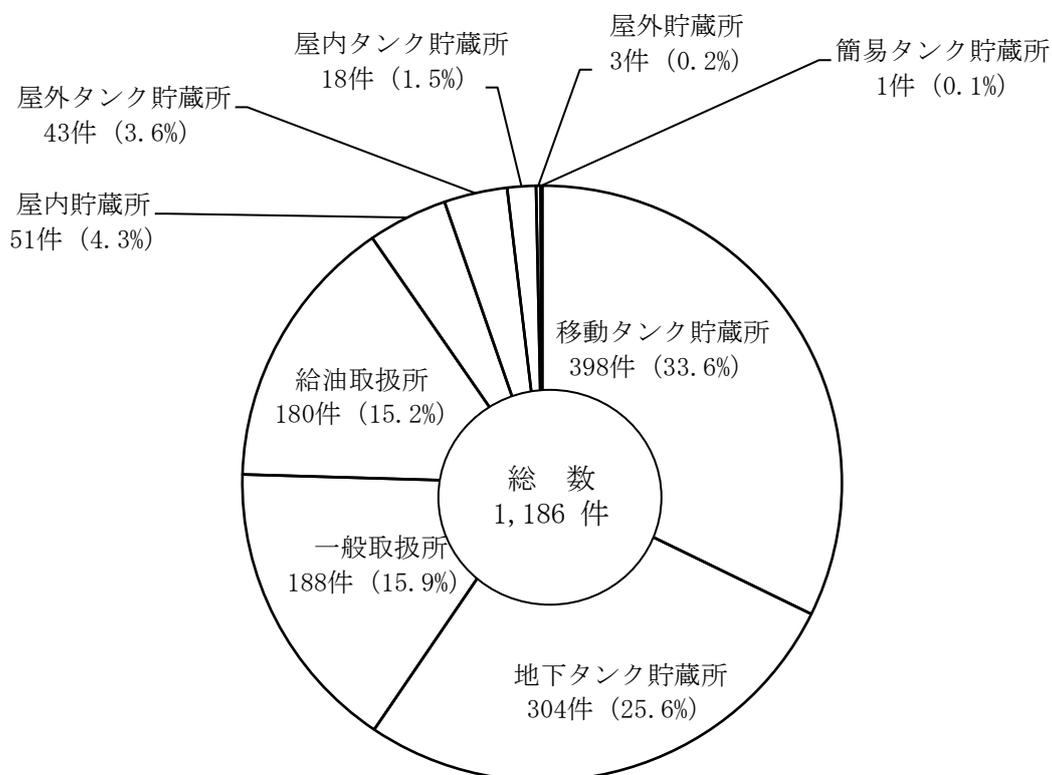
(令和5年4月1日現在)

施設別		市町村別								
		合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合 計		1,186	687	146	146	72	57	41	24	13
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	51	31	3	8	4	2	1	2	
	屋外タンク貯蔵所	43	20	3	6	4	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	18	12	3	1		1	1		
	地下タンク貯蔵所	304	176	37	39	19	10	13	2	8
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	398	234	58	49	24	19	6	7	1
	屋外貯蔵所	3	2						1	
小 計		818	476	104	103	51	34	22	19	9
取 扱 所	給油取扱所	180	94	25	22	13	15	7	2	2
	販売取扱所									
	一般取扱所	188	117	17	21	8	8	12	3	2
小 計		368	211	42	43	21	23	19	5	4

※ 単位：施設

危険物施設の状況

(令和5年4月1日現在)



規模別危険物施設の状況

(令和5年4月1日現在)

区分	施設別	合計	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
合計		1,186	51	43	18	304	1	398	3	180		188
数量	倍数が5以下	668	21	14	13	149	1	370		11		89
	倍数が5を超え10以下	196	16	4	5	100		8	3	12		48
	倍数が10を超え50以下	150	8	15		31		5		50		41
	倍数が50を超え100以下	63	4	4		13		9		25		8
	倍数が100を超え150以下	28	2	3		2		6		14		1
	倍数が150を超え200以下	23		1		1				20		1
	倍数が200を超えるもの	58		2		8				48		

※ 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 単位：施設

危険物施設の推移（5ヶ年間）

（令和5年4月1日現在）

年度別	施設別	合計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	一般取扱所
30年		1,231	53	42	19	335	1	397	3	184		197
元年		1,221	51	44	18	329	1	401	3	180		194
2年		1,214	51	44	18	318	1	407	3	181		191
3年		1,212	52	44	18	314	1	407	3	180		193
4年		1,186	51	43	18	304	1	398	3	180		188

※ 単位：施設

危険物関係各種届出・申請件数

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

区分	総数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出				
		廃止届出書	予防規程に係る所長等の書	変更届出書	名称等変更届出書	保安監督者選任・解任届出書	軽微な変更届出書	その他の届出・申請	少量危険物貯蔵・取扱い届出書	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書	液化石油ガス設備工事届出書	又は取扱いの開始届出書 圧縮アセチレンガス等の貯蔵
件数	396	40	34	63	58	87	56	34	0	24	0	

※ 危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書	17件
危険物製造所等使用休止再開届出書	4件
譲渡・引渡届出書	11件
休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請書	4件
危険物製造所等災害発生届出書	2件
地下貯蔵タンク等の在庫管理及び漏えい時の措置計画届出書	3件
予防規程認可申請書	10件
許可証等再交付申請書	5件

危険物製造所等の処理状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

製造所等の別		区分	合計	設置		変更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
				許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
令和4年度 (合計)			163	22	21	45	44	0	2	3	26
仮貯蔵・仮取扱			3							3	
貯蔵所	屋内貯蔵所		4	2	2						
	屋外タンク貯蔵所		2			1	1				
	屋内タンク貯蔵所										
	地下タンク貯蔵所		15	2	2	4	4				3
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所		57	16	15	13	13				
	屋外貯蔵所										
小計			81	20	19	18	18			3	3
取扱所	給油取扱所		65	1	1	22	21		2		18
	販売取扱所	第1種									
		第2種									
	移送取扱所										
	一般取扱所		17	1	1	5	5				5
小計			82	2	2	27	26		2		23

※ 単位：施設

警 防



消防車両等の保有状況

(令和5年4月1日現在)

種別 署別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	梯子車	救助工作車	化学車	救急車	司令車	指揮車	広報連絡車	資機材搬送車	重機搬送車	付水小型動力ポンプ車	燃料補給車	その他
	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
合計	79(6)	6	17(3)	2	4	1	18(3)	1	4	12	5	1	1	1	6
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	7(1)		1	1	1		2(1)		1						1
藤代分署	4		1				1			1					1
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
杵形分署	4(1)		2(1)				1			1					
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	9(1)	1	1		1		2(1)		1		2			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	7(1)	1	2(1)		1		1		1		1				
碓ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	5	1	1				1			1					1

※1 その他は、防火指導1号車、防火指導2号車、人員搬送車、5t重機、ミニホイールローダ(2台)。

2 ()は予備車、内書き。

車両配置状況

(令和5年4月1日現在)

署 別	種 別	名 称	車 名	年 式	摘 要
消防本部	司令車	司令車	トヨタ	R3	9人乗り 弘前地区消防防災協会寄贈
	広報車	広報1号車	三菱	H19	
	広報車	広報2号車	三菱	H22	
	防火査察指導車	査察1号車	日産	H24	
	機動査察車	機動査察車	トヨタ	R5	
	査察車	防火指導2号車	ダイハツ	H20	
弘前消防署	救助工作車	救助1号車	日野	R2	Ⅲ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H22	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H29	40m級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H24	高規格救急車 全国共済農業協同組合連合会寄贈
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H22	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H20	高規格救急車
	防火指導車	防火指導1号車	トヨタ	H23	15人乗り
藤代分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H24	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H16	
	弘前人員搬送車	弘前人員搬送1号車	日野	R3	24人乗り
西北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R2	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H19	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H27	
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H26	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防3号車	日野	H17	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
目屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H20	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H13	
東消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H31	Ⅲ型
	化学消防ポンプ自動車	化学1号車	日野	H29	化学Ⅱ型 積載水1,500L 薬液500L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H17	30m級 先端屈折式
	水槽車	水槽1号車	日野	H27	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型 積載水5,000L
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R5	高規格救急車
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H26	
	救急自動車	弘前予備救急3号車	トヨタ	H14	高規格救急車
	重機搬送車	弘前重機搬送1号車	三菱	H28	最大積載量9.2t 緊急消防援助隊無償使用車両
	5t重機	弘前重機1号車	コベルコ	H28	アタッチメント(掘削・破碎・切断・解体用つかみ) 緊急消防援助隊無償使用車両
	資機材搬送車	東支援1号車	トヨタ	R3	最大積載量0.5t
資機材搬送車	弘前資機材搬送1号車	三菱	H28	最大積載量3t	
枅形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H27	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防1号車	日野	H15	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	広報連絡車	広報連絡車	三菱	H17	
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H28	高規格救急車
	小型特殊自動車	作業1号車	キャタピラー	H26	ミニホイールローダ

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
南 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
黒石消防署	救助工作車	救助 1 号車	日 野	H24	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅰ-B型 積載水 1,500L 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	R2	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	日 産	H30	高規格救急車
	指揮隊車	指揮 1 号車	トヨタ	H25	
	資機材搬送車	支援 1 号車	トヨタ	H24	最大積載量 1t
	資機材搬送車	弘前資機材搬送 2号車	三 菱	H25	最大積載量 3t 緊急消防援助隊無償使用車両
	燃料補給車	弘前燃料補給 1号車	三 菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
救急自動車	弘前予備救急 2号車	日 産	H16	高規格救急車	
山 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	日 産	H27	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	トヨタ	R3	
田舎館分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H31	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	スバル	H16	
平川消防署	救助工作車	救助 1 号車	日 野	H27	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H31	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	R3	高規格救急車
	指揮隊車	指揮 1 号車	トヨタ	H26	
	資機材搬送車	支援 1 号車	トヨタ	H27	最大積載量 1t
碓ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	三 菱	H22	
板柳消防署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H21	CD-I型 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	R4	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	スバル	H30	
	小型特殊自動車	作業 1 号車	コ マ ツ	R3	ミニホイールローダ

主要資機材配置状況

(令和5年4月1日現在)

所 属 品 名	合 計	弘 前 消 防 署	藤 代 分 署	西 北 分 署	西 分 署	目 屋 分 署	東 消 防 署	杣 形 分 署	北 分 署	南 分 署	黒 石 消 防 署	山 形 分 署	田 舎 館 分 署	平 川 消 防 署	碓 ヶ 関 分 署	板 柳 消 防 署
空 気 呼 吸 器	167	17	4	4	16	4	15	8	8	7	20	4	4	41	4	11
同 上 ボ ン ベ	398	76	9	10	22	10	46	23	28	21	51	15	15	48	8	16
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	23	2	1	1	2	1	2	1	1	1	3	1	1	4	1	1
潜 水 器 具	13						13									
救 命 ボ ー ト	6		1				2				2			1		
救 命 索 発 射 銃	4	1					1				1			1		
マ ン ホ ー ル 救 助 器 具	4	1					1				1			1		
信 号 器 付 投 光 器	16	2	1	1	1	1	1	1	2		2		1	1	1	1
救 命 胴 衣	184	24	7	4	22	9	34	12	8	7	15	6	4	17	6	9
酸 素 呼 吸 器	20	5					5				5			5		
空 気 式 救 助 マ ッ ト	6	1					2				2			1		
防 毒 マ ス ク	41	10			5		5				9		2	10		
耐 熱 服	15	6					5				2			2		
エ ア ー ジ ャ ッ キ	6	2					1				1		1	1		
エ ア ー ラ イ ン マ ス ク	1	1														
可 燃 性 ガ ス 測 定 器	23	3	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	1	2	1	1
画 像 探 索 機	5	1					2				1			1		
可 搬 ウ イ ン チ	16	2	1	1	2		1	1	1		2		1	3		1
登 山 器 具	10	10														
酸 素 ・ ガ ス 溶 断 機	4	1					1				1			1		
送 排 風 機	8	1					1				2		1	3		
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	8	1			1				1	1	1		1	1		1
削 岩 機	4	1					1				1			1		
ガ ス 採 取 器 (北 川 式)	18	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1
放 射 線 測 定 器	12	4					2				5			1		
放 射 線 防 護 服	8	4					2				2					
熱 画 像 直 視 装 置	11	2		1			3			1	1		1	2		
エ ア ー テ ン ト	8	2									4			2		
バ ス ケ ッ ト 型 担 架	23	3	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	1	2	1	1
化 学 防 護 服 (陽 圧 式)	14	7					2							5		

林野火災対策機材保有状況

(令和5年4月1日現在)

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合 計	6 台	122 台	13 台	31 台
弘 前 消 防 署	1	14	1	3
藤 代 分 署		6	1	1
西 北 分 署	1	11	1	1
西 分 署		12	1	2
目 屋 分 署		8	2	2
東 消 防 署	1	12	1	5
枡 形 分 署	1	3	1	2
北 分 署		5	1	1
南 分 署				1
黒 石 消 防 署		11	2	2
山 形 分 署		9		1
田 舎 館 分 署		5		2
平 川 消 防 署	2	16	2	4
碓 ヶ 関 分 署		5		2
板 柳 消 防 署		5		2

消 防 水 利 状 況

【市町村別】

(令和5年4月1日現在)

水利種別 市町村別	合 計	消 火 栓										防 火 水 槽						
		公 設								私設	計	小計	m ³	m ³	m ³	100m ³ 以上	私設	小計
		口径 mm	75 ㄱ	100 ㄱ	125 ㄱ	150 ㄱ	200 ㄱ	300 ㄱ	500 以上				ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ		
設置別	99	124	149	199	299	499					39	59	99					
弘前市	3,246	地上式	310	203	26	70	18	3		8	638	2,497	30	670	31	10	8	749
		地下式	739	490	25	368	157	72	8		1,859							
黒石市	717	地上式	136	172	12	116	29	17	1	3	486	486	31	175	17		8	231
		地下式																
平川市	839	地上式	120	200	1	178	77	15		1	592	592	39	192	8	1	7	247
		地下式																
藤崎町	424	地上式	108	61	1	91	13				274	285	27	106	3	1	2	139
		地下式	6	1		3	1				11							
板柳町	420	地上式	92	136	2	95	34	10			369	372	6	38	2		2	48
		地下式		2		1					3							
大鱒町	293	地上式	151	18		30	5			1	205	222	9	57	3		2	71
		地下式	10	1		6					17							
田舎館村	242	地上式	27	34		47	22			3	133	134	2	102	2		2	108
		地下式				1					1							
西目屋村	97	地上式	29							1	30	33	4	60				64
		地下式	2	1							3							
合 計	6,278	地上式	973	824	42	627	198	45	1	17	2,727	4,621	148	1,400	66	12	31	1,657
		地下式	757	495	25	379	158	72	8		1,894							
		計	1,730	1,319	67	1,006	356	117	9	17	4,621							

消 防 水 利 状 況

【所属別】

(令和5年4月1日現在)

水利種別 所属別	合 計	消 火 栓										防 火 水 槽							
		口径 mm 設置別	公 設								私設	計	小計	m ³ 20 〱 39	m ³ 40 〱 59	m ³ 60 〱 99	100m ³ 以上	私設	小計
			75 〱 99	100 〱 124	125 〱 149	150 〱 199	200 〱 299	300 〱 499	500 以上										
弘前消防署	735	地上式	32	13		3		2		1	51	658		59	15	2	1	77	
		地下式	298	125		78	53	50	3		607								
藤代分署	539	地上式	65	20		3	5			2	95	383	2	149	2	1	2	156	
		地下式	92	78	6	78	24	6	4		288								
西北分署	205	地上式	25	8		1					34	125	10	69	1			80	
		地下式	23	20	1	38	9				91								
西分署	547	地上式	108	107	26	46	10			1	298	407	13	124	2		1	140	
		地下式	41	28	10	24	6				109								
目屋分署	164	地上式	31	4						1	36	65	9	90				99	
		地下式	8	10	8	3					29								
うち東目屋	(67)	地上式	(2)	(4)							(6)	(32)	(5)	(30)				(35)	
		地下式	(6)	(9)	(8)	(3)					(26)								
東消防署	712	地上式	30	17		8	3			4	62	557		138	8	6	3	155	
		地下式	187	162		101	42	2	1		495								
柘形分署	441	地上式	48	34		9		1			92	335		101	3	1	1	106	
		地下式	92	68		46	23	14			243								
北分署	424	地上式	108	61	1	91	13				274	285	27	106	3	1	2	139	
		地下式	6	1		3	1				11								
南分署	293	地上式	151	18		30	5			1	205	222	9	57	3		2	71	
		地下式	10	1		6					17								
黒石消防署	624	地上式	115	156	12	105	29	17	1	1	436	436	19	148	15		6	188	
		地下式																	
山形分署	93	地上式	21	16		11				2	50	50	12	27	2		2	43	
		地下式																	
田舎館分署	242	地上式	27	34		47	22			3	133	134	2	102	2		2	108	
		地下式				1					1								
平川消防署	747	地上式	87	189		163	77	15		1	532	532	39	161	7	1	7	215	
		地下式																	
碓ヶ関分署	92	地上式	33	11	1	15					60	60		31	1			32	
		地下式																	
板柳消防署	420	地上式	92	136	2	95	34	10			369	372	6	38	2		2	48	
		地下式		2		1					3								
合 計	6,278	地上式	973	824	42	627	198	45	1	17	2,727	4,621	148	1,400	66	12	31	1,657	
		地下式	757	495	25	379	158	72	8		1,894								
		計	1,730	1,319	67	1,006	356	117	9	17	4,621								

通信指令



通信設備状況

(令和5年4月1日現在)

設置区分 常置場所	有線								無線								県防災情報ネットワーク				携帯電話							
	一 九 回 線	F A X 一 九 回 線	一 般 F A X 回 線	医 療 紹 介 電 話	災 害 情 報 テ レ フ ォ ン	N E X C O 東 日 本 回 線	指 令 回 線	指 令 書 回 線	デジタル						アナログ		電 話 機	衛 星 電 話	防 災 情 報 端 末	映 像 受 信 装 置	衛 星 携 帯 電 話	救 急 車 用	指 揮 隊 用	消 防 本 部 用				
									基 地 局	固 定 局	車 載 (A V M)	車 載 (高 機 能 操 作 部)	車 載 無 線 機 の み 積 載	卓 上 型 半 固 定	可 搬 移 局	携 帯 移 動 局									署 活 系 携 帯	ア ナ ロ グ 防 災 相 互 波		
消防本部	通信指令課	12	1	1	1	1			1	1		3	3		2	16	16	6	1	1	1	1	2					1
	本部			1								5			2	3		2							4	1	1	
弘前消防署管轄	弘前消防署			1			1	1			5	1	1	1	1	6	16								1	1		
	藤代分署			1			1	1			2	1	1	1	3	8									1			
	西北分署			1			1	1	1		2	1		1	3	4									1			
	西分署			1			1	1			3	1		1	3	8										1		
	目屋分署			1			1	1	1		2	1		1	3	4										1		
東消防署管轄	東消防署			1			1	1			6	3	1	1	1	8	21	2								1	1	
	柞形分署			1			1	1			2	2		1	3	6										1		
	北分署			1			1	1			3			1	3	6										1		
	南分署			1			1	1			3			1	4	7										1		
黒石消防署管轄	黒石消防署			1			1	1			5	5		1	1	8	16								1	1	1	
	田舎館分署			1			1	1			2	1		1	3	4										1		
	山形分署			1			1	1			2	1		1	3	4										1		
平川消防署管轄	平川消防署			1			1	1			5	4		1	1	6	16									1	1	
	碓ヶ関分署			1			1	1			2	1		1	3	5										1		
板柳消防署			1			1	1				3	1		1	4	7										1		
高速道路坂梨トンネル									2																			
平川市小国山									1	1																		
計		12	1	17	1	1	1	15	15	6	2	47	31	3	15	6	81	151	8	3	1	1	1	1	3	19	5	2
合計		13				50									350						6					29		

※ AVM・高機能操作部とは、自車位置や支援情報を送信する車両運用端末装置です。

119番通報状況（月別）

（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

種別 月	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	通 報 訓 練	いた ずら	間 違 い	そ の 他
合計	17,149 (7,587)	206 (145)	10,788 (4,916)	89 (82)	269 (151)	2,707 (240)	146 (120)	578 (394)	2,366 (1,539)
1月	1,291 (569)	21 (13)	902 (386)	12 (12)	19 (9)	98 (7)	9 (7)	59 (33)	171 (102)
2月	1,168 (474)	8 (5)	789 (328)	3 (2)	7 (4)	133 (9)	8 (7)	40 (17)	180 (102)
3月	1,351 (512)	10 (7)	817 (338)	2 (1)	8 (4)	230 (15)	10 (8)	36 (24)	238 (115)
4月	1,214 (582)	61 (50)	729 (334)	10 (9)	10 (8)	182 (22)	4 (4)	49 (36)	169 (119)
5月	1,350 (633)	28 (22)	837 (395)	10 (9)	19 (14)	207 (11)	5 (3)	65 (49)	179 (130)
6月	1,371 (534)	6 (3)	782 (351)	9 (9)	11 (7)	344 (25)	14 (13)	34 (21)	171 (105)
7月	1,422 (679)	17 (14)	923 (444)	3 (3)	16 (9)	184 (20)	31 (24)	60 (45)	188 (120)
8月	1,746 (881)	11 (4)	1086 (521)	15 (14)	129 (69)	144 (11)	15 (13)	54 (35)	292 (214)
9月	1,410 (635)	2 (1)	861 (414)	8 (7)	10 (6)	264 (21)	19 (17)	35 (27)	211 (142)
10月	1,548 (647)	18 (11)	943 (455)	3 (3)	9 (8)	374 (30)	5 (2)	39 (32)	157 (106)
11月	1,610 (704)	15 (10)	970 (453)	7 (6)	16 (4)	340 (45)	16 (13)	53 (36)	193 (137)
12月	1,668 (737)	9 (5)	1149 (497)	7 (7)	15 (9)	207 (24)	10 (9)	54 (39)	217 (147)

（ ）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、問合せ、無応答、回線試験などによる件数です。

119番通報状況（時間帯別）

（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

種別 時間	合計	火災	救急	救助	警戒	通報訓練	いたずら	間違い	その他
合計	17,149	206	10,788	89	269	2,707	146	578	2,366
0～1	338	7	224	2	2	4	17	14	68
1～2	247	6	166	0	3	0	7	8	57
2～3	254	2	180	0	1	0	12	7	52
3～4	249	0	173	0	4	0	19	7	46
4～5	285	8	215	1	1	0	4	12	44
5～6	335	2	270	0	5	0	3	8	47
6～7	523	11	386	3	22	2	3	21	75
7～8	712	7	544	1	11	36	2	22	89
8～9	973	6	625	2	24	196	2	25	93
9～10	1,477	6	783	4	18	477	3	39	147
10～11	1,489	16	735	5	14	554	0	31	134
11～12	1,039	17	653	8	22	137	0	38	164
12～13	860	12	570	11	27	83	3	31	123
13～14	1,097	32	545	7	24	285	6	27	171
14～15	1,223	15	603	2	26	434	2	26	115
15～16	913	6	534	5	11	218	2	35	102
16～17	837	6	540	7	12	116	2	36	118
17～18	879	8	594	10	14	88	5	32	128
18～19	767	5	580	7	11	30	4	21	109
19～20	734	17	514	3	7	24	7	32	130
20～21	628	10	443	3	3	8	9	33	119
21～22	471	4	343	3	2	0	13	32	74
22～23	436	1	308	4	3	1	11	23	85
23～24	383	2	260	1	2	14	10	18	76

「その他」とは、問合せ、無応答、回線試験などによる件数です。

1 1 9 番通報件数の推移（5ヶ年間）

年	種類 通報件数	内 訳		
		固定電話	携帯電話	IP 電話
平成30年	15,014	5,860	5,282	3,872
令和元年	14,907	5,351	5,579	3,977
令和2年	13,611	4,507	5,459	3,645
令和3年	14,420	4,582	5,891	3,947
令和4年	17,149	4,956	7,587	4,606

医療機関紹介状況（科目別・月別）

（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

種別 月	合 計	内 科	外 科	小 児 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	婦 人 科	精 神 科	泌 尿 器 科
合計	8,775	3,865	2,682	2,011	72	63	34	22	10	11	5
1月	733	315	249	144	5	7	6	2	4	1	
2月	531	253	162	107	5	2	1			1	
3月	517	244	140	115	4	6	3	1	1	2	1
4月	628	263	225	121	9	5	3			2	
5月	850	379	279	170	8	5	4	1		3	1
6月	585	262	179	127	6	8	1	2			
7月	871	393	278	178	3	8	3	7	1		
8月	1,285	598	306	351	10	8	3	6	1	2	
9月	712	306	251	142	5	3	2		2		1
10月	695	258	234	196	4	2	1				
11月	618	246	189	172	5	3	1		1		1
12月	750	348	190	188	8	6	6	3			1

医療機関紹介状況（5ヶ年間）

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	10,795	10,287	8,330	8,239	8,775

火 災



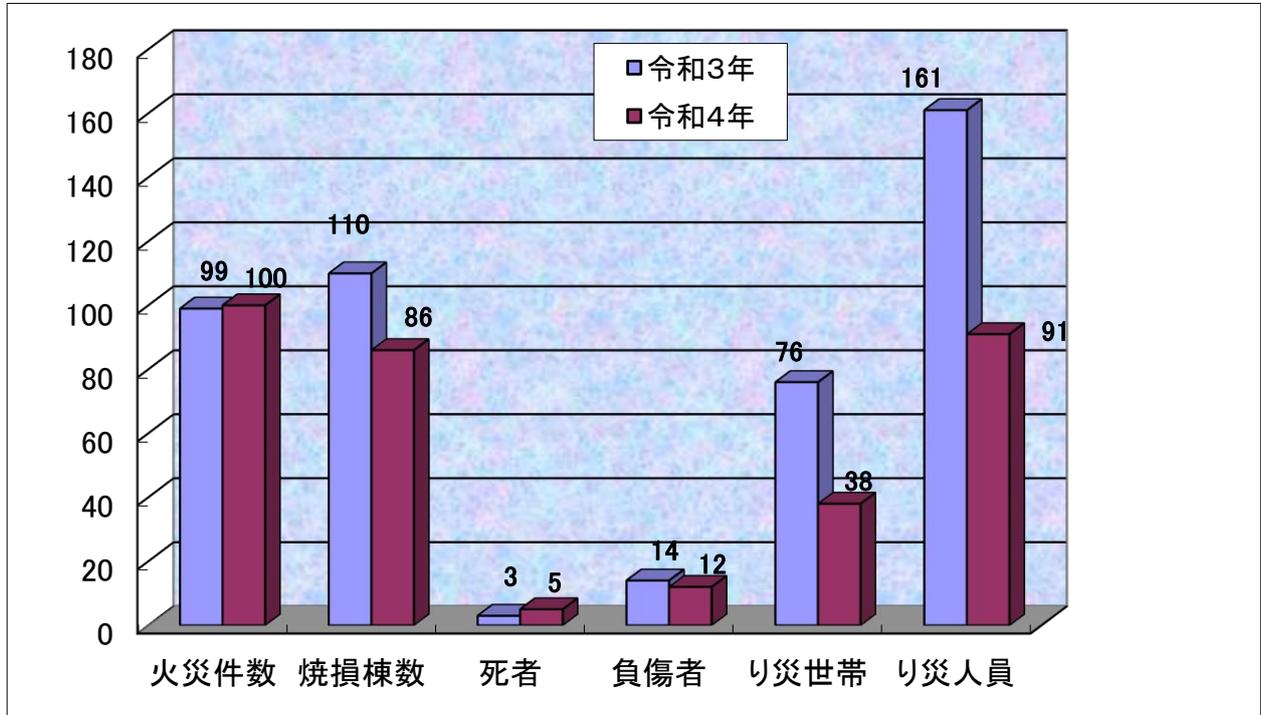
令和4年における火災概要

令和4年（1月～12月）における当事務組合管内の火災件数は100件で、前年に比べ1件増加した。火災種別ごとでは、建物火災56件（前年54件）、林野火災2件（前年0件）、車両火災4件（前年6件）、その他の火災38件（前年39件）となっている。死者は5人（前年3人）、負傷者12人（前年14人）となっている。

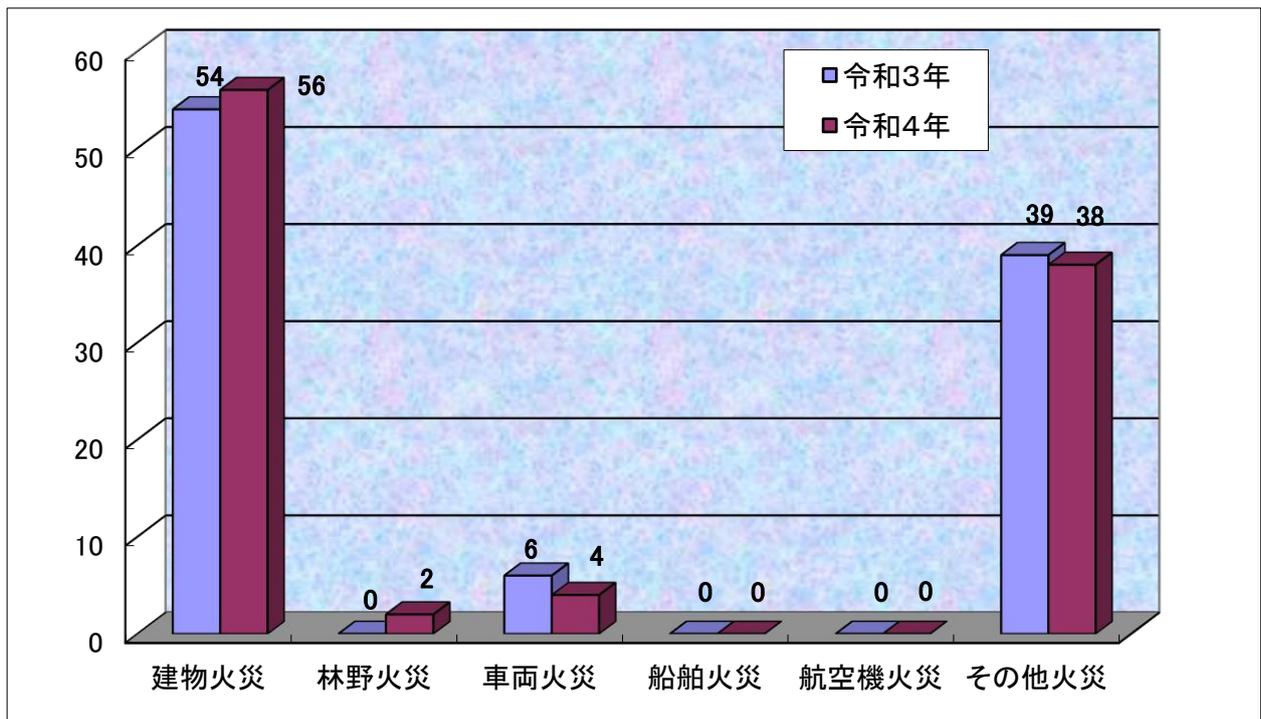
火災による死者の火災種別では、建物火災が5人で、住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災における死者4人、更にそこから放火自殺者を除くと3人となっている。

区 分	令和4年（A）	令和3年（B）	増減（C） 「（A）－（B）」
火 災 件 数（件）	100	99	1
建 物	56	54	2
林 野	2	0	2
車 両	4	6	△2
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	38	39	△1
焼 損 棟 数（棟）	86	110	△24
全 焼	32	36	△4
半 焼	5	16	△11
部 分 焼	16	26	△10
ぼ や	33	42	△9
建物焼損床面積（㎡）	3,131	4,415	△1,284
建物焼損表面積（㎡）	175	590	△415
林野焼損面積（a）	106	0	106
死 者（人）	5	3	2
負 傷 者（人）	12	14	△2
り 災 世 帯 数 （世帯）	38	76	△38
全 損	14	28	△14
半 損	1	2	△1
小 損	23	46	△23
り 災 人 員（人）	91	161	△70
損 害 額（千円）	132,148	218,455	△86,307
建 物	121,410	190,419	△69,009
林 野	1,598	0	1,598
車 両	4,642	22,424	△17,782
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	4,498	5,612	△1,114

火災の概況



火災の種別

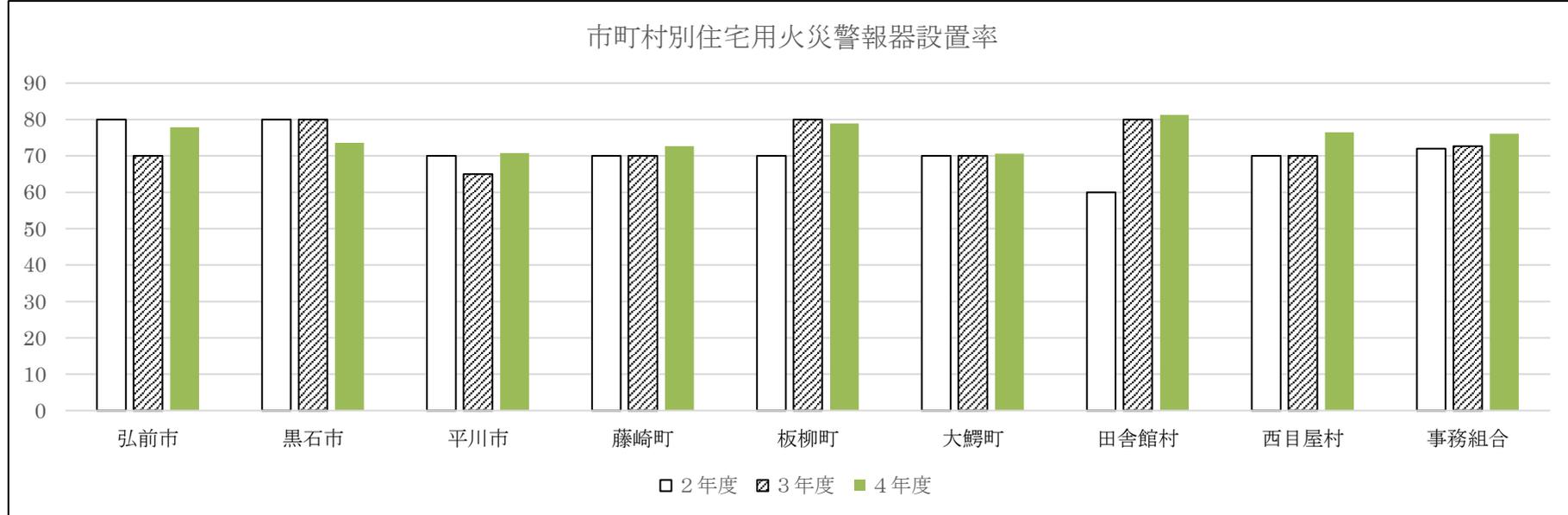


住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は76.1%となっています。

構成市町村		構成市町村								
		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	計
4	調査世帯数	208	53	48	11	19	17	16	17	389
	設置世帯数	162	39	34	8	15	12	13	13	296
	設置率	77.9%	73.6%	70.8%	72.7%	78.9%	70.6%	81.3%	76.5%	76.1%
3	調査世帯数	20	20	20	10	10	10	10	10	110
	設置世帯数	14	16	13	7	8	7	8	7	80
	設置率	70.0%	80.0%	65.0%	70.0%	80.0%	70.0%	80.0%	70.0%	72.7%
2	調査世帯数	20	10	20	10	10	10	10	10	100
	設置世帯数	16	8	14	7	7	7	6	7	72
	設置率	80.0%	80.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	60.0%	70.0%	72.0%

市町村別住宅用火災警報器設置率



市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者			焼損面積		損害額（千円）					
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その 他の 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	その 他の 火 災
													全 損	半 損	小 損										
弘前市	30年	41	28	1	3	9	42	14	3	7	18	25	8	1	16	83	4(1)	9(1)	1,910	19	147,776	147,013	414	346	3
	元年	92	45	3	5	39	71	24	5	13	29	49	16	5	28	145	12(5)	15	3,506	27	175,406	173,860	22	868	656
	2年	50	26	1	3	20	43	9	4	10	20	28	8	1	19	82	6(1)	6(1)	1,813	12	95,645	92,908	335	173	2,229
	3年	51	32		3	16	62	19	3	13	27	44	14	1	29	91	2	12	2,737		135,820	133,680		1,564	576
	4年	55	39	1	1	14	56	18	4	11	23	26	11	1	14	51	4(1)	5	2,571	7	75,683	72,726	270	1,154	1,533
黒石市	30年	12	6		2	4	13	5	1	7		13	7		6	26	3(1)	3	960		22,035	21,772		151	112
	元年	14	7		1	6	7	1	1	3	2	6	2		4	17	2(1)	3	478		9,706	9,209		80	417
	2年	13	10			3	14	7	1	2	4	6	1	1	4	11		3	270		4,406	4,366		40	
	3年	11	5			6	14	6	1	4	3	10	7	1	2	15			627		15,466	15,152			314
	4年	9	2	1	1	5	2	2										1	63	99	4,265	253	1,328	2,680	4
平川市	30年	6	5		1		6	4			2	2	2			8		1	376		9,416	9,320		96	
	元年	19	6	1	1	11	7	1	1	2	3	4		1	3	9	1(1)	1	75	39	10,660	6,316	3,404	925	15
	2年	21	9	3	2	7	11	4	1	4	2	6	3	1	2	15	1(1)	2	557	63	39,374	36,301	1,976	1,097	
	3年	15	9		1	5	26	10	2	7	7	16	6		10	32	1		1,222		57,874	32,968		20,834	4,072
	4年	10	2		1	7	8	2	1	4	1	4	1		3	15		2	252		39,668	18,746		744	20,178
藤崎町	30年	8	5		2	1	6	1		1	4	3	1		2	6		1	584		20,352	18,152		2,200	
	元年	3	1			2	1	1											130		2,768	2,768			
	2年	3	1			2	1			1															
	3年	9	3		1	5	3			1	2	2			2	11			285		5,479	4,850			629
	4年	4	2			2	2			2	1				1	4		1			448	448			

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

区分 市町 村別	年 別	火災件数					焼損棟数				り災状況			死傷者			焼損面積		損害額(千円)						
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災
													全 損	半 損	小 損										
板柳町	30年	7	3		2	2	3	1	1	1		2		2		7		1	194		8,282	7,921		359	2
	元年	8	3			5	8	3	1	3	1	4	2		2	13		1	740		7,438	7,438			
	2年	7	4			3	4			1	3	2			2	11			3		5,223	3,071			2,152
	3年	6	4		1	1	4	1		1	2	3	1		2	9			134		3,659	3,633			26
	4年	10	3		1	6	3	2			1	2	1		1	6		1	9		592	72		64	456
大鰐町	30年	5	2	1		2	2	1		1				1	3			9	27	480	34	445			1
	元年	5	1			4	2	1		1		2	1		1	4		1	184		5,057	5,057			
	2年	10	5	1		4	7	1	2	3	1	7	3	1	3	18	2		477	54	21,726	21,065	569		92
	3年	4	1			3	1				1	1			1	3		2			136	136			
	4年	2	1			1	2	1			1	1			1	5			9		58	58			
田舎館村	30年	4	2		1	1	2		2			2	2		4		1	158		12,596	11,896		700		
	元年	5	1			4	1				1	1			3	1				201	1			200	
	2年	3	2			1	4	1	2	1		1			4	1(1)	1	153		5,310	5,310				
	3年	3				3														21				21	
	4年	9	7			2	13	7		1	5	4	1		3	10	1	2	402		10,678	10,602			76
西目屋村	30年	1			1															600				600	
	元年																								
	2年	2				2																			
	3年																								
	4年	1				1																			

※ 死傷者欄中の()内は放火自殺者数

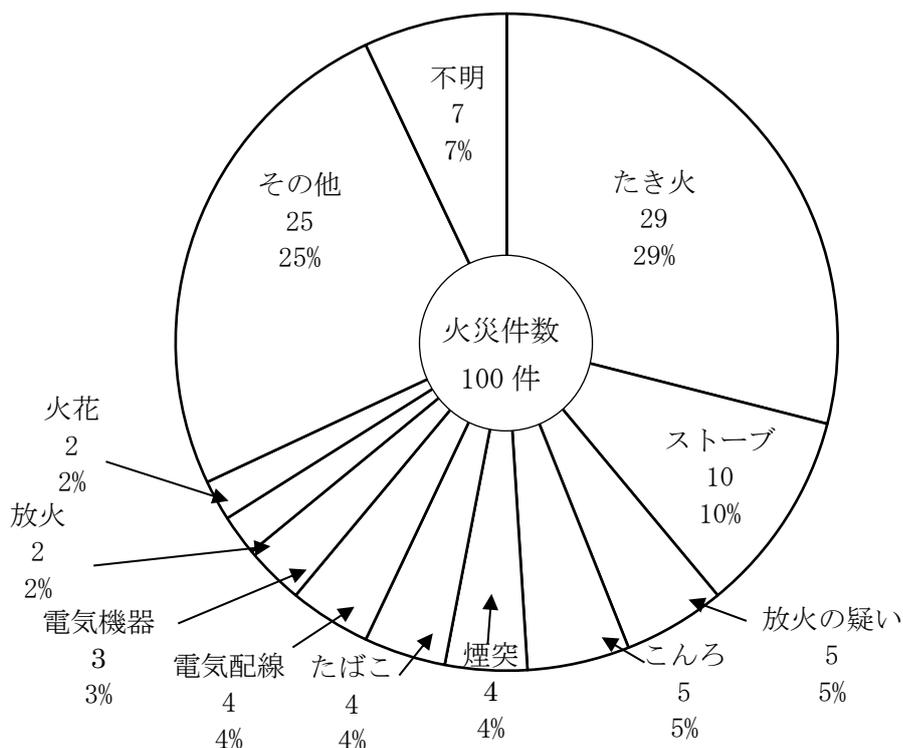
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 年別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者		焼損面積		損害額（千円）						
	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災
												全 損	半 損	小 損										
30年	84	51	2	12	19	74	26	7	17	24	48	20	3	25	137	7 (2)	16 (1)	4,191	46	221,537	216,108	859	4,452	118
元年	146	64	4	7	71	97	31	8	22	36	66	21	6	39	191	16 (7)	21	5,113	66	211,236	204,649	3,426	1,873	1,288
2年	109	57	5	5	42	84	22	10	21	31	50	15	4	31	141	10 (3)	12 (1)	3,273	129	171,684	163,021	2,880	1,310	4,473
3年	99	54	0	6	39	110	36	6	26	42	76	28	2	46	161	3	14	5,005	0	218,455	190,419	0	22,424	5,612
4年	100	56	2	4	38	86	32	5	16	33	38	14	1	23	91	5 (1)	12	3,306	106	132,148	103,257	1,598	4,642	22,651

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

出火原因の状況

火災件数100件の出火原因は、たき火によるものが件と最も多く、次いでストーブ、放火の疑い・こんろの順となっている。



令和4年	
火災件数	100
原因別	
たき火	29
ストーブ	10
放火の疑い	5
こんろ	5
煙突	4
たばこ	4
電気配線	4
電気機器	3
放火	2
火花	2
その他	25
不明	7

令和3年	
火災件数	99
原因別	
たき火	26
ストーブ	9
煙突	6
電気配線	5
たばこ	5
こんろ	4
放火の疑い	4
ライター	2
ろうそく	2
放火	2
その他	19
不明	15

令和2年	
火災件数	109
原因別	
たき火	33
放火の疑い	10
たばこ	9
ストーブ	7
放火	6
こんろ	4
電気配線	3
スパーク	2
灯明	2
電池	2
その他	14
不明	17

令和元年	
火災件数	146
原因別	
たき火	58
ストーブ	18
たばこ	9
放火	7
こんろ	5
放火の疑い	5
ハンドトーチ	4
電気機器	3
ローソク	2
マッチ・ライター	2
その他	17
不明	16

月別発生状況

火災件数は100件で、月ごとにみると4月が31件と最も多く、9月が1件と最も少なくなっている。

区分 月別	火 災 件 数	火 災 の 種 別				焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積	林 野 焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損 害 額
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災								
合計	100 件	56 件	2 件	4 件	38 件	86 棟	3,306 m ²	106 a	38 世帯	91 人	5 人	12 人	132,148 千円
1月	10	6		1	3	11	370		4	13		1	11,541
2月	7	6		1		8	408		3	9		2	15,003
3月	4	2		1	1	7	730		7	18		1	42,579
4月	31	10	1	1	19	10	133	99	5	13	1	2	15,346
5月	19	7	1		11	14	637	7	4	10		1	14,607
6月	3	2			1	3	7						539
7月	3	3				3	86						1,562
8月	3	3				7	440		3	4		1	19,977
9月	1	1				1							66
10月	5	4			1	7	219		3	10	1	2	5,685
11月	9	8			1	10	263		6	9	2	2	4,487
12月	5	4			1	5	13		3	5	1(1)		756

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

市町村別、月別の火災件数

火災件数100件中、弘前市が55件で55%を占め、次いで、平川市及び板柳町が10件で10%となっている。

市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	100	55	9	10	4	10	2	9	1
1月	10	3		3	2			2	
2月	7	5	1				1		
3月	4	2		1			1		
4月	31	14	7	3		5		2	
5月	19	12		1	1	2		2	1
6月	3	1			1			1	
7月	3	3							
8月	3	3							
9月	1	1							
10月	5	3				1		1	
11月	9	4	1	1		2		1	
12月	5	4		1					

市町村別、曜日別の火災件数

火災件数100件中、木曜日の発生が22件と最も多く、金曜日の発生が9件と最も少なくなっている。

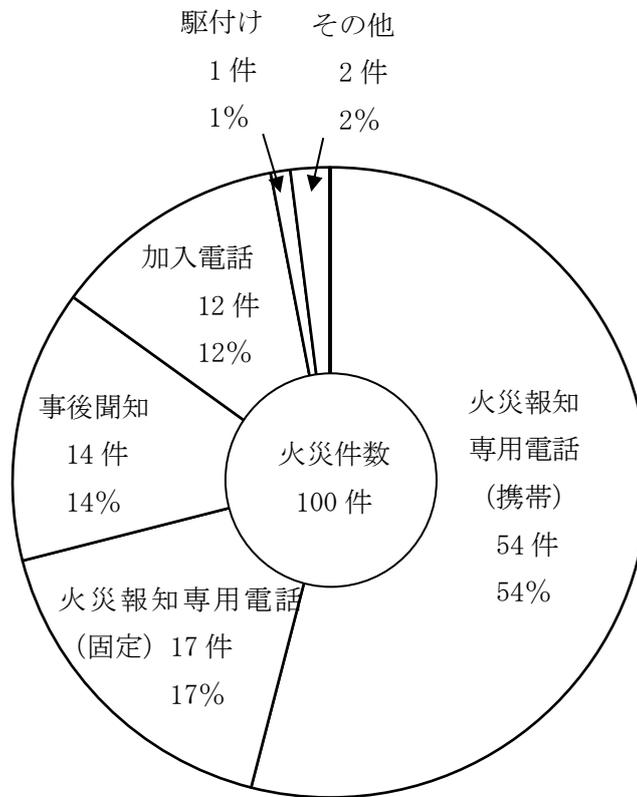
市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	100	55	9	10	4	10	2	9	1
日	19	9	5	1		3		1	
月	14	8	1	3		2			
火	14	12	1					1	
水	10	7	1			1	1		
木	22	9		4	1	4	1	2	1
金	9	7			1			1	
土	12	3	1	2	2			4	
不明									

市町村別、時間帯別の火災件数

時間帯別の火災発生状況は、14時から16時の間が最も多くなっている。

市町村別 時間帯	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	100	55	9	10	4	10	2	9	1
0～2	3	2						1	
2～4	2			2					
4～6	5	4				1			
6～8	6	4	1	1					
8～10	5	3	1						1
10～12	15	7	2	2	1	1		2	
12～14	17	5	2	2	1	4	2	1	
14～16	19	13	1	1		3		1	
16～18	7	3	1	1	1			1	
18～20	9	7			1			1	
20～22	5	4				1			
22～24	3	1		1				1	
不明	4	2	1					1	

覚知別火災件数



覚知別 市町村別	火災件数	火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
		固定	携帯	固定	携帯			
合計(件)	件 (IP) 100 (1)	件 (IP) 17 (1)	件 54	件 7	件 5	件 1	件 14	件 2
弘前市	55 (1)	10 (1)	28	3	3		10	1
黒石市	9		5	1			2	1
平川市	10	1	5	2		1	1	
藤崎町	4	1	2		1			
板柳町	10	1	8		1			
大鰐町	2	1	1					
田舎館村	9	3	4	1			1	
西目屋村	1		1					

※ (IP)とはIP電話のことで、インターネット回線を利用した電話のこと。

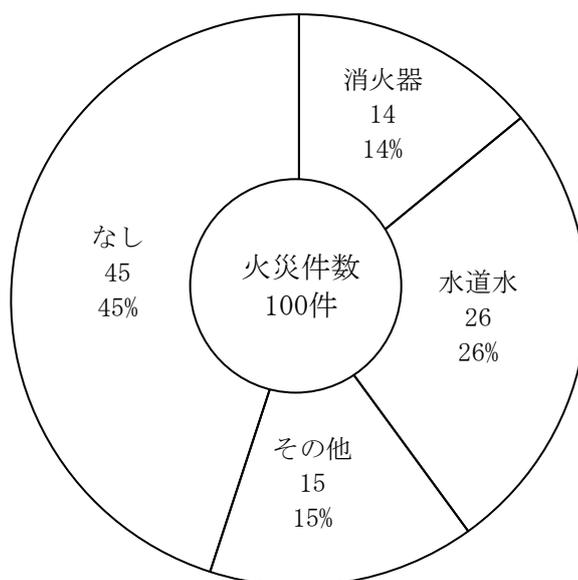
火災種別ごとの初期消火状況

火災件数100件中、初期消火が実施された火災は55件（建物火災33件、林野火災1件、車両火災2件、その他の火災19件）で、使用された器具等は消火器が9件、水道水が13件となっている。

初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は31件（建物火災22件、車両火災1件、その他の火災8件）である。

区分 火災種別	火災 件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内 訳			実施率 (%)	計 件	内 訳			成功率 (%)	計 件	未実施率 (%)
			消火器 件	水道水 件	その他 件			消火器 件	水道水 件	その他 件			
合 計	100	55	14	26	15	55	31	9	13	9	56.4	45	45
建物火災	56	33	11	18	4	58.9	22	7	12	3	66.7	23	41.1
林野火災	2	1			1	50					0	1	50
車両火災	4	2	1		1	50	1			1	25	2	50
その他の火災	38	19	2	8	9	50	8	2	1	5	21.1	19	50

初期消火の状況



救 急



救急業務の概況

令和4年中の組合管内の出動件数は、12,801件、搬送人員は11,762人で前年に比べ、出動件数が2,131件（20%）、搬送人員が2,045人（21%）とそれぞれ増加し、過去最高を記録した。

このことは、管内で一日平均35.1件、約39.9分に1回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約23人に1人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第1位が急病によるもので8,267件、第2位が一般負傷1,814件、第3位が転院搬送1,707件、第4位が交通事故536件となっている。また、搬送人員では第1位が急病7,644人、第2位が転院搬送1,697人、第3位が一般負傷1,691人、第4位が交通事故486人となっている。

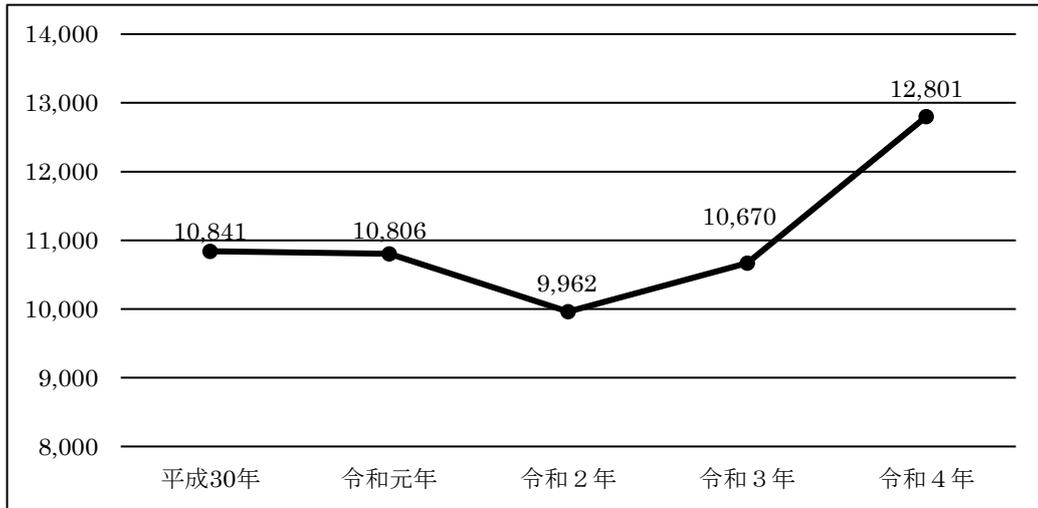
搬送された11,762人の傷病程度の内訳は、死亡352人（2.99%）、重症1,956人（16.64%）、中等症5,360人（45.57%）、軽症4,090人（34.77%）、その他が4人（0.03%）となっている。

医療機関等へ搬送された11,762人のうち、99.3%にあたる11,641人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの0.7%にあたる121人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較（対前年比）

署別	件数 年別	件数		増減
		令和4年	令和3年	
合計		12,801	10,670	2,131
弘前消防署		2,005	1,698	307
藤代分署		1,308	1,043	265
西北分署		302	224	78
西分署		687	533	154
目屋分署		124	118	6
東消防署		1,781	1,544	237
枅形分署		1,972	1,642	330
北分署		686	587	99
南分署		506	406	100
黒石消防署		1,112	956	156
山形分署		151	137	14
田舎館分署		529	416	113
平川消防署		854	729	125
碓ヶ関分署		172	136	36
板柳消防署		612	501	111

救急出動件数の推移（5ヶ年間）



年 別	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
出 件 動 数	10,841	10,806	9,962	10,670	12,801
対 前 年 増 減	494	△35	△844	708	2,131

市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別 年別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村	高 速 道 路	管 外
令和 4 年	12,801	8,334	1,314	1,237	586	530	426	305	59	10	0
令和 3 年	10,670	6,878	1,195	1,025	511	431	333	240	53	3	1
増 減	2,131	1,456	119	212	75	99	93	65	6	7	△1

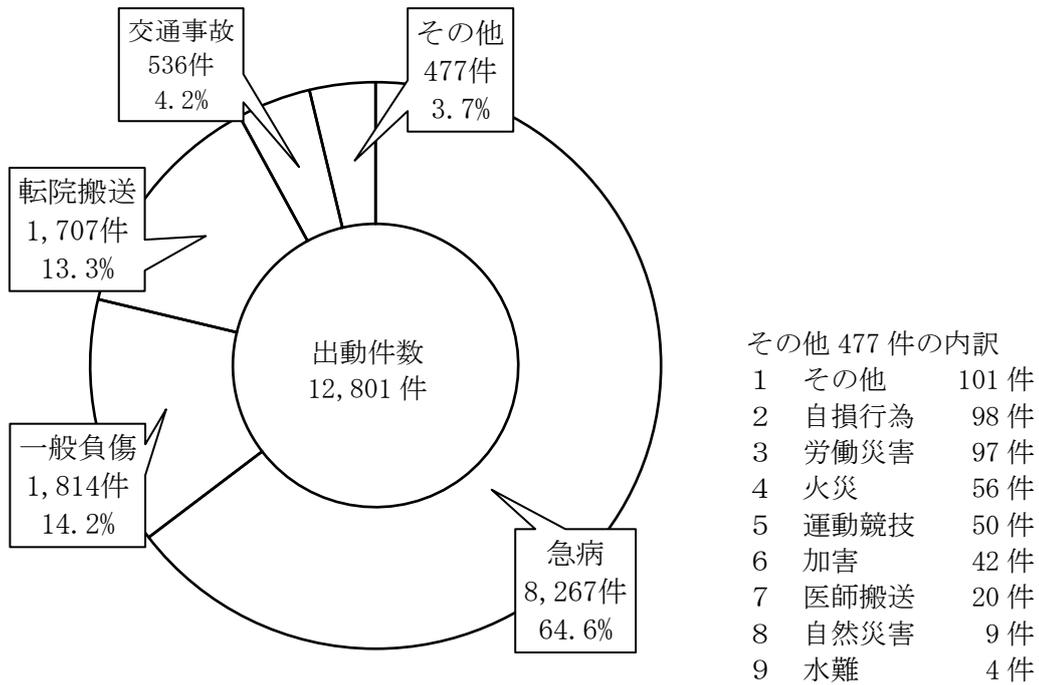
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

市町村別	区分	合計	事故種別										その他		
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	12,801	56	9	4	536	97	50	1,814	42	98	8,267	1,707	20	101
	搬送人員	11,762	10	1	2	486	92	50	1,691	32	57	7,644	1,697		
弘前市	出動件数	8,334	29	5	2	311	69	39	1,145	25	57	5,179	1,396	10	67
	搬送人員	7,693	4		1	283	63	39	1,064	20	34	4,796	1,389		
黒石市	出動件数	1,314	4			60	14	3	192	7	8	877	139	1	9
	搬送人員	1,198	1			51	14	3	178	5	4	803	139		
平川市	出動件数	1,237	5		1	64	3	3	186	4	13	919	24	4	11
	搬送人員	1,168	2		1	64	3	3	179	4	9	879	24		
藤崎町	出動件数	586	4			43	3	2	63	5	4	395	62	2	3
	搬送人員	530				39	4	2	61	2	3	357	62		
板柳町	出動件数	530	6	1		20	4	2	77	1	5	361	50		3
	搬送人員	461	1	1		15	4	2	69	1	4	315	49		
大鰐町	出動件数	426	2			16	3		84		6	287	21	3	4
	搬送人員	387				15	3		81		1	267	20		
田舎館村	出動件数	305	6		1	16	1	1	55		5	202	15		3
	搬送人員	266	2			13	1	1	48		2	185	14		
西目屋村	出動件数	59		2					12			45			
	搬送人員	51							11			40			
高速道路	出動件数	10		1		6						2			1
	搬送人員	8				6						2			
管外	出動件数														
	搬送人員														

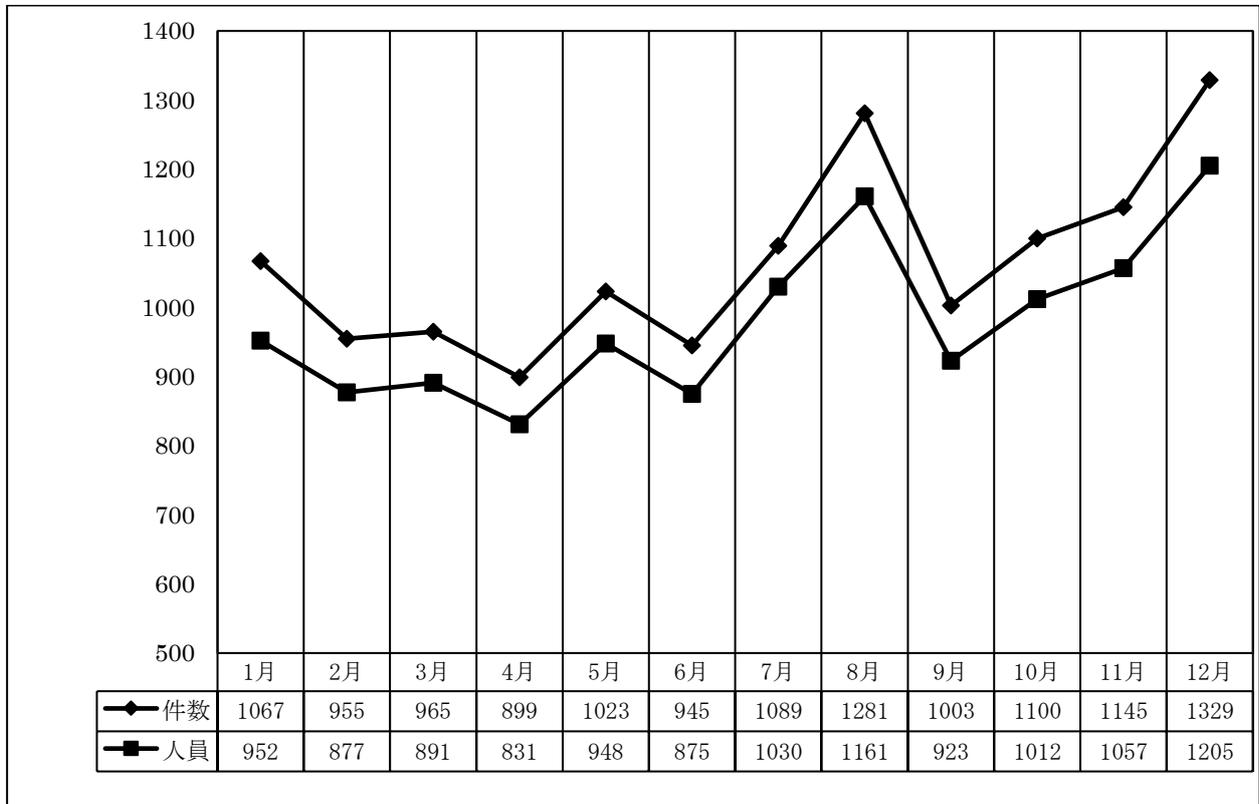
署別、事故種別救急業務実施状況

署別	区分	合計	事故種別											その他		
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	
合計	出動件数	12,801	56	9	4	536	97	50	1,814	42	98	8,267	1,707	20	101	
	搬送人員	11,762	10	1	2	486	92	50	1,691	32	57	7,644	1,697			
弘前消防署	出動件数	2,005	11	1		60	10	9	251	12	15	1,221	379	18	18	
	搬送人員	1,824	1			56	9	9	233	11	9	1,119	377			
藤代分署	出動件数	1,308	4		2	56	13	5	175	3	6	897	136		11	
	搬送人員	1,194				52	10	5	160	2	3	827	135			
西北分署	出動件数	302	3			16	2	2	60		6	207	6			
	搬送人員	274				16	2	2	56		4	188	6			
西分署	出動件数	687		2		25	15	6	113	2	6	477	38		3	
	搬送人員	646				26	14	6	112	1	4	445	38			
目屋分署	出動件数	124				2	1		30			91				
	搬送人員	117				3	1		29			84				
東消防署	出動件数	1,781	10			81	16	5	186	4	18	969	468	1	23	
	搬送人員	1,657	1			71	16	5	173	3	12	910	466			
枳形分署	出動件数	1,972	9			78	9	5	292	4	10	1,207	343		15	
	搬送人員	1,830	4			66	8	5	271	3	5	1,127	341			
北分署	出動件数	686	4			34	7	2	79	4	5	470	74		7	
	搬送人員	607	1			30	8	2	72	2	2	418	72			
南分署	出動件数	506		1		22	4	7	98	1	6	340	26		1	
	搬送人員	471				22	4	7	91	1	2	319	25			
黒石消防署	出動件数	1,112	7			47	10	5	163	3	4	757	104	1	11	
	搬送人員	1,020	3			38	10	5	151	3	3	703	104			
山形分署	出動件数	151				4	3		30	2	2	108	2			
	搬送人員	139				4	3		30	2	1	97	2			
田舎館分署	出動件数	529				36	2	1	103	2	6	332	44		3	
	搬送人員	479				35	2	1	93		2	302	44			
平川消防署	出動件数	854	5		1	40	1	1	113	3	8	636	37		9	
	搬送人員	796			1	37	1	1	105	3	6	605	37			
碓ヶ関分署	出動件数	172				9			30		1	127	5			
	搬送人員	163				10			30			118	5			
板柳消防署	出動件数	612	3	5	1	26	4	2	91	2	5	428	45			
	搬送人員	545		1	1	20	4	2	85	1	4	382	45			

事故種別救急出動件数



月別救急出動件数及び搬送人員



事故種別、覚知方法別出動件数

覚知別 \ 事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	12,801	56	9	4	536	97	50	1,814	42	98	8,267	1,828
自己覚知	23	1			10			1			5	6
専用電話	11,164	53	2	3	396	93	49	1,715	33	76	7,936	808
加入電話	1,354	2	5	1	108	3	1	48	6	18	184	978
駆け付け	102		2		3	1		30			65	1
警察電話	23				4			5		3	8	3
その他	135				15			15	3	1	69	32

現場到着所要時間別出動件数

現着所要時間 \ 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要時間 (分)
合計	12,801	100	437	7,383	4,603	278	9.3
急病	8,267	55	206	4,711	3,163	132	9.4
交通	536	3	18	272	211	32	10.3
一般負傷	1,814	18	55	1,016	672	53	9.6
その他	2,184	24	158	1,384	557	61	8.6

収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要時間 \ 事故種別	合計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要時間 (分)
合計	11,762	1	159	2,011	8,376	1,184	31	41.8
急病	7,644		25	1,010	5,770	814	25	43.2
交通	486		3	68	343	72		44.1
一般負傷	1,691		11	205	1,263	208	4	44.1
その他	1,941	1	120	728	1,000	90	2	34.1

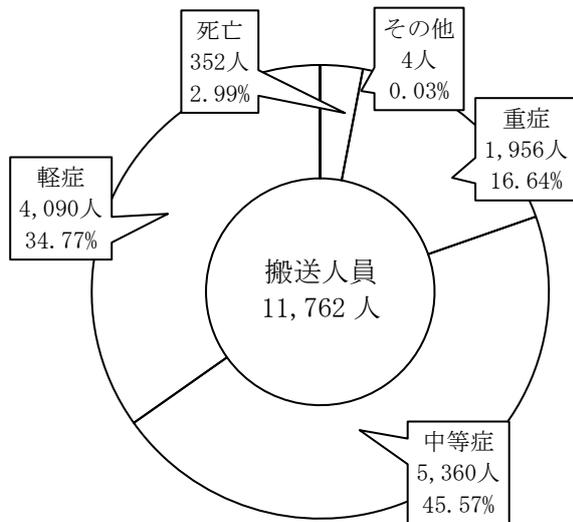
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

年齢区分	事故種別		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	傷病程度													
合 計	死 亡		352			1	4			21		14	310	2
	重 症		1,956	1		1	28	10	2	224	1	7	1,082	600
	中 等 症		5,360	4			132	34	18	683	4	23	3,446	1,016
	軽 症		4,090	5	1		322	48	30	762	27	13	2,804	78
	そ の 他		4							1			2	1
	計		11,762	10	1	2	486	92	50	1,691	32	57	7,644	1,697
新 生 児	死 亡													
	重 症		3											3
	中 等 症		17										3	14
	軽 症		1										1	
	そ の 他													
	計		21										4	17
乳 幼 児	死 亡													
	重 症		7										1	6
	中 等 症		70				3			4			50	13
	軽 症		253				8		1	43			194	7
	そ の 他													
	計		330				11		1	47			245	26
少 年	死 亡		1										1	
	重 症		7			1	1		2	1				2
	中 等 症		71				5		12	5			37	12
	軽 症		182				26		19	20	2	4	108	3
	そ の 他													
	計		261			1	32		33	26	2	4	146	17
成 人	死 亡		28				2			1		9	16	
	重 症		349				8	7		23		5	169	137
	中 等 症		1,034	2			76	22	6	108	1	15	569	235
	軽 症		1,417	2			200	40	8	191	17	9	927	23
	そ の 他													
	計		2,828	4			286	69	14	323	18	38	1,681	395
高 齢 者	死 亡		323			1	2			20		5	293	2
	重 症		1,590	1			19	3		200	1	2	912	452
	中 等 症		4,168	2			48	12		566	3	8	2,787	742
	軽 症		2,237	3	1		88	8	2	508	8		1,574	45
	そ の 他		4							1			2	1
	計		8,322	6	1	1	157	23	2	1,295	12	15	5,568	1,242

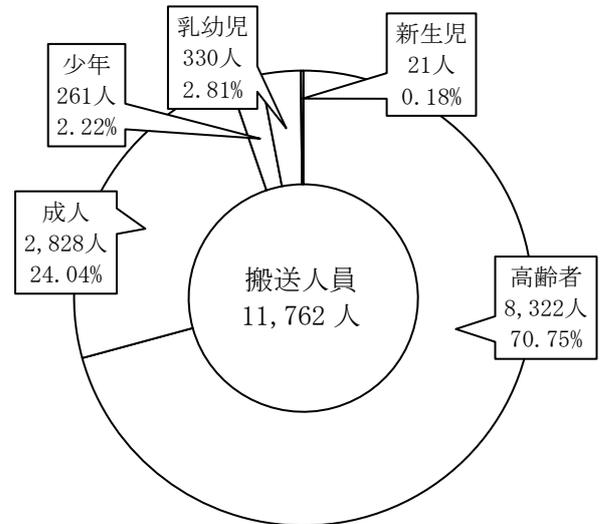
※○新生児・・・生後28日未満
 ○乳幼児・・・生後28日以上満7歳未満
 ○少年・・・満7歳以上満18歳未満
 ○成人・・・満18歳以上満65歳未満
 ○高齢者・・・満65歳以上

※○死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症・・・入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症・・・入院加療を必要としないもの
 ○その他・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 (傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)

傷病程度別搬送人員



年齢区分別搬送人員

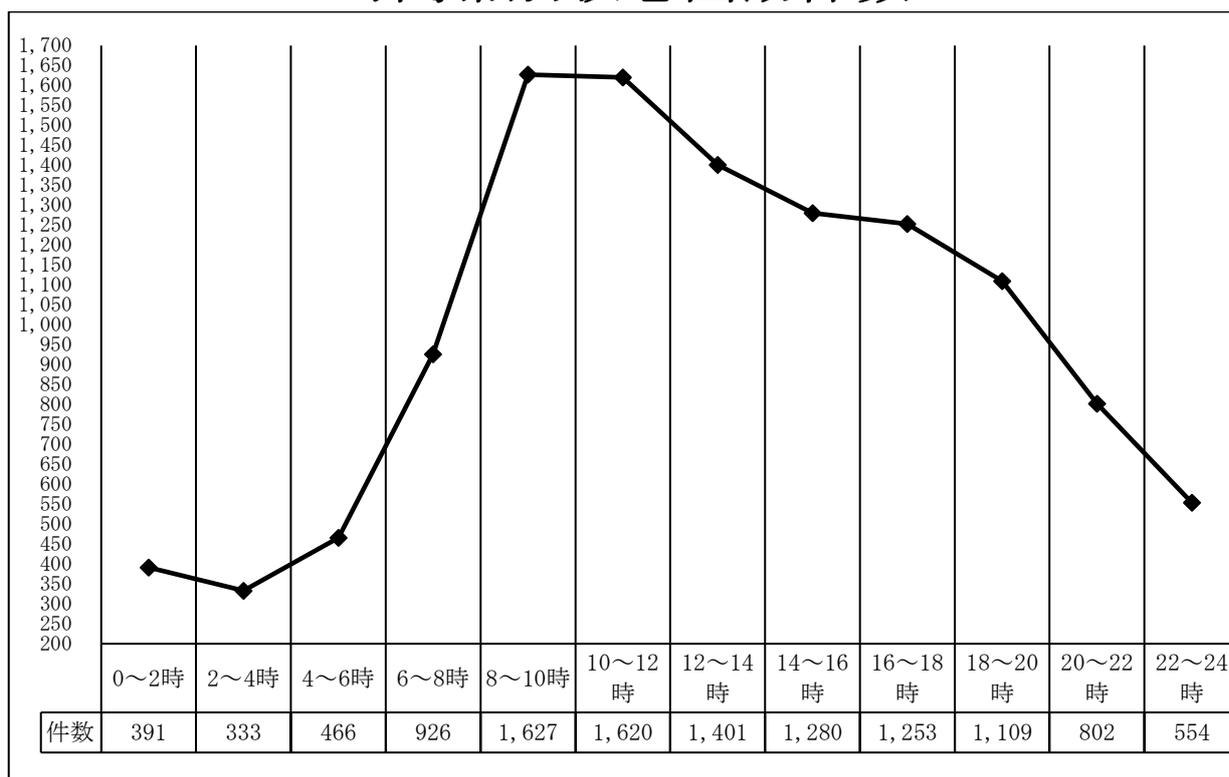


発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					
	合計	住宅	公衆 出入場所	仕事場	道路	その他
合計	11,762	6,486	4,031	262	781	202
急病	7,644	5,344	1,920	154	159	67
交通	486	4	18	1	455	8
一般負傷	1,691	1,058	346	26	150	111
その他	1,941	80	1,747	81	17	16

- ※ 住宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
 公衆出入場所…多数の人が集まる場所
 仕事場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所
 道路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等
 その他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

時間帯別救急出動件数



応急手当の普及啓発活動の状況

令和4年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は125回で、受講人員は、2,298名となっている。

また、昭和57年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	救命入門コース	その他の講習
実施回数	0回	85回	24回	10回	6回
受講人数	0名	1,588名	97名	298名	315名

津軽圏域救急告示医療機関一覧表

(令和5年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
●弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町53番地	0172-33-5111
●独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	弘前市大字 富野町1番地	0172-32-4311
●津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字 扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目19番地1	0172-27-1431
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目2番地9	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 鳴海病院	弘前市大字 品川町19番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 弘前中央病院	弘前市大字 吉野町3番地1	0172-36-7111
国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井74番地2	0172-73-3231
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田2番地1	0172-65-3771
町立大鰐病院	南津軽郡大鰐町 大字蔵館字川原田40番地4	0172-48-2211

※ ●は、第二次輪番制参加病院等協議会参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急、二次救急、三次救急で構築されています。

初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅医が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記●印第二次輪番制参加病院等協議会参加病院である3病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする患者の内科・外科診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を弘前大学医学部附属病院高度救命救急センターが担っております。

※ 体制時間について

○初期救急医療

・弘前市急患診療所：内科、小児科（平日・土曜日19時～22時30分）（日曜・祝日10時～16時19時～22時30分）
外科（日曜・祝日10時～16時）

・休日在宅：内科（日曜・祝日9時～12時）耳鼻科・眼科・歯科（日曜・祝日10時～16時）

○入院救急医療：第二次輪番制参加病院等協議会参加病院

○三次救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

津軽地域小児救急病院等一覧表

(令和5年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
●独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
●津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町53番地	0172-33-5111

※ ●印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制」が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある2病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

- 初期救急（外来）：弘前市急患診療所
 - ・平日、土曜日（19時～22時30分）
 - ・休日（10時～16時・19時～22時30分）
- 二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院
 - ・平日（毎日17時～翌朝8時30分）
 - ・土曜日、休日（8時30分～翌朝8時30分）
- 三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）
 - ・毎日24時間（二次病院では対応できない重症の患者）

医療機関別救急搬送状況

三次医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター	974	227	1,201	475	1,676
弘前市 二次輪番制参加医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター (国立病院機構弘前病院)	2,110 (411)	1,137 (155)	3,247 (566)	369 (57)	3,616 (623)
健生病院	1,643	1,106	2,749	274	3,023
管内 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院	33	26	59	59	118
弘前脳卒中センター	254	201	455	102	557
弘愛会病院	48	124	172	24	196
弘前メディカルセンター		1	1	1	2
鳴海病院	35	54	89	16	105
弘前中央病院	59	72	131	63	194
黒石病院	577	407	984	74	1,058
ときわ会病院	101	106	207	21	228
板柳中央病院	87	74	161	8	169
町立大鰐病院	16	27	43	8	51
弘前市立病院	1	5	6	1	7
弘前小野病院	3	15	18	32	50
管外 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
青森県立中央病院	5	15	20	20	40
八戸市立市民病院				1	1
その他医療機関 (診療所)	輪番時間帯	輪番時間帯 以外	小計	転院搬送	合計
管内	137	346	483	108	591
管外	19	20	39	41	80
その他場所					
合計	6,102	3,963	10,065	1,697	11,762

※ () は令和4年1月1日～令和4年3月31日までの国立病院機構弘前病院の件数

救 助



事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別		年別	令和4年	令和3年	増 減
合 計		出動件数	151	108	43
		活動件数	118	77	41
		救助人員	129	60	69
火 災	建 物	出動件数	6	8	△2
		活動件数	6	8	△2
		救助人員			
	建 物 以 外	出動件数	1		1
		活動件数	1		1
		救助人員	1		1
交 通 事 故	出動件数	53	37	16	
	活動件数	36	19	17	
	救助人員	40	19	21	
水 難 事 故	出動件数	4	4	0	
	活動件数	4	3	1	
	救助人員	4	3	1	
風 水 害 等 害 自 然 災 害	出動件数	10	3	7	
	活動件数	10	3	7	
	救助人員	29	3	26	
機 械 による 事 故	出動件数	6	5	1	
	活動件数	4	3	1	
	救助人員	4	3	1	
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	46	28	18	
	活動件数	39	24	15	
	救助人員	32	18	14	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	2	4	△2	
	活動件数	2	4	△2	
	救助人員	1	2	△1	
破 裂 事 故	出動件数				
	活動件数				
	救助人員				
そ の 他 の 事 故	出動件数	23	19	4	
	活動件数	16	13	3	
	救助人員	18	12	6	

※ 出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

消防団



管内市町村の消防団長

(令和5年4月1日現在)

市町村名	団長名	就任年月日
弘前市	久保順一	令和4年8月21日
黒石市	工藤清明	令和2年11月1日
平川市	今井紀夫	令和2年8月1日
藤崎町	浅瀬石潤悦	令和2年3月1日
板柳町	北畠憲一	令和3年3月23日
大鰐町	山崎高男	令和2年6月1日
田舎館村	山本正志	平成29年4月1日
西目屋村	山崎清則	平成29年3月1日

管内市町村の消防副団長

(令和5年4月1日現在)

市町村名	副団長名	就任年月日
弘前市	仲野浩二	令和2年3月1日
	舘田行雅	令和2年12月1日
	佐藤哲之	令和4年7月1日
	田沢順造	令和4年8月7日
	田中誠一	令和4年8月21日
黒石市	佐藤松男	平成29年11月1日
	村上禎亮	平成29年11月1日
	三浦実	令和2年11月1日
	宇野秀行	令和2年11月1日
	今大介	令和4年5月1日
平川市	大湯晴美	令和2年8月1日
	齋藤涉	令和3年4月1日
	白川秋徳	平成30年5月1日
藤崎町	奈良完治	平成24年12月6日
	古川哲美	平成26年4月1日
	三上鉄弘	平成26年12月1日
	福田隆寿	令和2年3月1日
板柳町	三上義勝	平成28年8月1日
	三戸康正	平成29年2月1日
	會津丞	平成29年4月1日
	村上一貴	令和3年3月23日
大鰯町	山内高信	平成30年4月1日
	小野光一	平成30年5月1日
	齋藤孝幸	令和2年6月1日
	外崎登	令和2年7月1日
田舎館村	工藤鑄逸	平成28年4月1日
	田澤隆	平成28年4月1日
	八木橋宣之	平成30年10月16日
	鈴木哲也	令和3年4月1日
西目屋村	大瀧学	平成22年12月21日
	熊谷孝夫	平成29年3月1日

管内市町村別消防団車両配備状況

(令和5年4月1日現在)

市町村	車種	合 計	普通 消防 ポン プ自 動車	小型 動力 ポン プ積 載車	水 槽付 ポン プ自 動車	警 備 車	司 令 車	そ の 他	小 型 動 力 ポン プ
合 計		台 285	台 84	台 182	台 0	台 8	台 3	台 8	台 15
弘 前 市		114	27	76		8	1	2	4
黒 石 市		50	17	31				2	
平 川 市		38	17	21					2
藤 崎 町		23		22			1		2
板 柳 町		18	12	5			1		4
大 鰐 町		17	8	8				1	2
田 舎 館 村		20		19				1	
西 目 屋 村		5	3					2	1

備考 小型動力ポンプは、合計に計上せず。

管内市町村階級別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

階級 市町村	条 例 定 数	現 在 数	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
	人	人	分団	人	人	人	人	人	人	人
合 計	4,795	4,167 (111)	205 (4)	13	62	256 (4)	217 (3)	280 (6)	658 (14)	2,681 (84)
弘前市	2,080	1,788 (33)	111 (1)	6	29	133 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,172 (28)
黒石市	740	702 (19)	9	1	6	14 (1)	11	50 (1)	123 (2)	497 (15)
平川市	680	581 (36)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	41 (3)	83 (6)	407 (25)
藤崎町	411	341 (0)	22 (1)	1	4	32 (0)	21 (0)	21 (0)	63 (0)	199 (0)
板柳町	270	235 (7)	18	1	4	24	18	18	55 (1)	115 (6)
大鱈町	300	270 (15)	17 (1)	1	4	22 (1)	17 (1)	16 (1)	41 (3)	169 (9)
田舎館村	234	196 (1)	5	1	4	5	14	19	57	96 (1)
西目屋村	80	54	3	1	2	6	4	3	12	26

備考 () については、女性団員で内書き。

管内市町村在職年数別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平 均 在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
			人	人	人	人	人	人	人
合 計	4,167	12.9	738	910	819	731	542	254	173
弘前市	1,788	12.6	350	401	342	297	237	99	62
黒石市	702	12.9	98	154	151	165	78	33	23
平川市	581	14.4	109	106	105	93	91	42	35
藤崎町	341	13.7	43	63	63	74	49	27	22
板柳町	235	14.2	35	48	50	40	35	18	9
大鰐町	270	13.4	51	67	43	41	25	26	17
田舎館村	196	11.2	41	54	54	16	22	6	3
西目屋村	54	11.0	11	17	11	5	5	3	2

管内市町村年齢別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平 均 年 齢	18歳以上	26	31	36	41	46	51	56	61歳 以上
			25歳	30	35	40	45	50	55	60	
合 計	4,167	44.2	125	286	453	753	787	716	475	340	272
弘前市	1,788	43.1	73	126	167	348	348	309	206	144	67
黒石市	702	42.1	25	48	97	145	141	114	69	49	14
平川市	581	47.5	7	26	48	81	96	102	79	59	83
藤崎町	341	44.2	11	21	39	52	61	67	36	35	19
板柳町	235	43.6	2	18	27	47	38	48	30	16	9
大鰐町	270	45.6	3	25	33	30	44	42	34	31	28
田舎館村	196	39.9	4	19	37	41	52	24	14	3	2
西目屋村	54	47.6	0	3	5	9	7	10	7	3	10

管内市町村階級別消防団員年報酬

(令和5年4月1日現在 単位：円)

市町村	階級							団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長		
弘前市	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	
黒石市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500	
平川市	82,500	69,000	50,500	45,500	42,000	38,400	36,600 15,000	
藤崎町	77,500	66,500	57,500 53,500	42,500	40,500	38,500	36,500	
板柳町	83,000	67,000	52,000 50,000	43,000	39,000	38,000	36,500	
大鰐町	82,500	69,000	50,700	45,600	41,100	37,200	36,600 15,000	
田舎館村	74,400	62,400	50,400	42,000	38,400	37,200	36,600	
西目屋村	76,500	66,500	52,500	42,500	40,500	38,500	36,500 20,000	

備考 平川市の団員下段は、機能別団員
 藤崎町の分団長上段は、団付分団長
 板柳町の分団長上段は、団付分団長
 大鰐町の団員下段は、機能別分団員
 西目屋村の団員下段は、支援団員

管内市町村消防団員出動手当

(令和5年4月1日現在 単位：円)

市町村	1 回 あ た り の 出 動 手 当 額			
	水・火災等	警 戒	訓 練	そ の 他
弘 前 市	3,000	3,000	2,000	2,000
黒 石 市	4時間以上 8,000 4時間未満 4,000			儀式等(観閲式) 2,000
平 川 市	8,000 4時間未満 4,000 誤報 2,000	8,000 4時間未満 4,000	2,000	儀式等(観閲式) 2,000
藤 崎 町	4時間以上 8,000 4時間未満 4,000 誤報 2,000	2,000	2,000	2,000
板 柳 町	2,000	2,000	2,000	2,000
大 鰐 町		1日(2時間以内) 2,000 1日(2時間以上4時間以内) 4,000 1日(4時間以上8時間以内) 8,000		搜索による出動 8,000/日 式典等による出動 4,000/日
田 舎 館 村	(定額)	1消防部 110,000円/年		本部 90,000円/年
西 目 屋 村	1日 8,000 半日 4,000	2,000	2,000	2,000

※ その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額

地域防災組織



幼・少年消防クラブと婦人(女性)防火クラブ

- 幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。
- 少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、周囲の人々に及ぼそうという少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校1年生から中学校3年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Clubの頭文字をとってBFCともいう。
- 婦人(女性)防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃の家庭の火気を取扱う機会をふまえて、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的で明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

令和4年度の活動状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

幼年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	56	3,122
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	20	662
視察研修・野外研修・指導者研修	12	330
合 計 (A)	88 回	4,114 人

少年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	1	522
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	20	80
視察研修・野外研修・指導者研修	2	87
合 計 (B)	23 回	689 人

婦人(女性)防火クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	0	0
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
青森県南黒地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	15	77
視察研修・野外研修・指導者研修	22	80
合 計 (C)	37 回	157 人

総 合 計 (A) + (B) + (C)	148 回	4,960 人
-----------------------------	-------	---------

幼年消防クラブの状況

(令和5年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員 数	結成年月日	代 表 者
弘 前 市	大沢保育園幼年消防クラブ	15名	H 4. 5. 11	成 田 真 弓
〃	大開保育園幼年消防クラブ	19名	H 4. 7. 1	成 田 宣 子
〃	サムエル保育園幼年消防クラブ	34名	H 3. 7. 25	山 鹿 紀 夫
〃	城東保育園幼年消防クラブ	22名	H13. 9. 1	三 浦 テ ッ
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	36名	H 3. 7. 25	齋 藤 靈 一
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	27名	H 4. 7. 1	下 山 京 子
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	37名	H 3. 7. 25	山 鹿 智 子
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	38名	H 4. 7. 1	◎ 長 内 昭 子
〃	とよだ幼年消防クラブ	32名	H11. 4. 1	一 町 田 英 子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	31名	H 3. 7. 25	黒 沼 忠 由 樹
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	76名	H 4. 7. 1	武 田 芳 子
〃	よつば保育園幼年消防クラブ	47名	H 3. 7. 25	吉 成 千 鶴 子
黒 石 市	あけぼのこども園幼年消防クラブ	13名	H 5. 2. 1	谷 君 雄
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	37名	H 1. 12. 1	木 立 睦 子
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	42名	H 3. 7. 1	明 本 謙 治
〃	幸成保育園幼年消防クラブ	70名	H10. 12. 5	福 士 富 美 子
〃	千徳保育園幼年消防クラブ	37名	H 1. 12. 1	村 上 隆 昭
〃	つくし第一こども園幼年消防クラブ	19名	H 2. 12. 1	工 藤 哲 悟 郎
〃	つくし第二こども園幼年消防クラブ	18名	H 2. 12. 1	工 藤 悟
〃	中郷こども園幼年消防クラブ	15名	H 1. 12. 1	山 口 優 美
〃	美郷こども園幼年消防クラブ	51名	H13. 4. 1	○ 湯 瀬 久 美
平 川 市	尾上保育園幼年消防クラブ	27名	H 2. 10. 1	藤 山 祐 一
〃	大坊こども園幼年消防クラブ	23名	H15. 4. 1	古 川 香

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ 数	結成年月日	代 表 者
平 川 市	はすね保育園幼年消防クラブ	46名	H15. 2. 1	△ 小田桐 輝雄
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	40名	H 6. 4. 5	小野 一 治
〃	平賀あすなろ保育園幼年消防クラブ	47名	S62. 7. 1	小笠原 勝則
藤 崎 町	小畑保育所幼年消防クラブ	15名	H24. 4. 1	△ 阿保真紀子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	18名	H24. 4. 1	太田 亜 矢 子
〃	藤崎保育所幼年消防クラブ	25名	H24. 4. 1	三浦真紀子
板 柳 町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	80名	H21. 4. 1	泉 隆 子
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	45名	H17. 4. 1	福岡 美紀子
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	43名	H17. 4. 1	新谷 直 子
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	60名	H17. 4. 1	○ 竹内 睦 子
大 鰐 町	大鰐保育園幼年消防クラブ	34名	H16.12.14	村上 睦 子
田 舎 館 村	田舎館こども園幼年消防クラブ	41名	H18. 5. 1	小野 やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	76名	H18. 5. 9	福 士 敬 博
計	3 6 ク ラ ブ	1,336名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

※畑岡保育所鶴住幼年消防クラブは令和5年3月31日で解散。

少年消防クラブの状況

(令和5年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	幹 事 長
弘 前 市	大沢地区少年消防クラブ	50名	S52. 7. 5	◎ 小田桐 誠一郎
〃	藤代地区少年消防クラブ	24名	S55. 3. 30	○ 齊 藤 博
〃	千年地区少年消防クラブ	13名	S55. 3. 30	吉川 城人
〃	東目屋地区少年消防クラブ	82名	H 3. 7. 14	竹内 吏里
黒石市	黒石小学校少年消防クラブ	85名	S52. 4. 11	△ 武田 勇人
弘 前 市	清水地区少年消防クラブ	活動休止中	S55. 12. 27	
計	6 ク ラ ブ	254名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

婦人(女性)防火クラブの状況

(令和5年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	委 員 長
弘 前 市	藤代地区婦人防火クラブ	14名	S55. 2. 3	△ 浅原 雅子
〃	清水地区婦人防火クラブ	14名	S55. 3. 9	○ 千葉千鶴子
〃	和徳地区婦人防火クラブ	21名	S55. 3. 30	舘田 妙子
黒石市	黒石市女性防火クラブ	21名	H 3. 4. 12	◎ 鈴木 美香
平川市	平賀地区婦人防火クラブ	31名	S53. 4. 1	成田 由美子
〃	平川市碓ヶ関地区婦人防火クラブ	9名	H19. 10. 1	△ 山田 泰子
田舎館村	田舎館村女性防火クラブ	25名	S58. 3. 13	佐々木 久子
西目屋村	西目屋村婦人防火クラブ	20名	S55. 8. 27	○ 檜山 玲子
計	8 ク ラ ブ	155名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和43年7月10日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和46年4月1日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和46年7月15日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は3市3町2村、16部会36班で構成されている。

名 称	弘前地区消防防災協会
事 務 局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目 的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1 防火管理の研究 2 消防関係法令の普及 3 災害予防に関する知識の普及と広報 4 災害発生時の相互協力 5 会員の教養、研修 6 災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰 7 災害発生時の会員死傷者に対する弔慰 8 その他、本会の目的達成のため必要と認める事項
会 員	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防法に定める防火対象物の関係者 2 消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 3 液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 4 その他、本会の目的に賛同する者
役 員	会長1名 副会長3名 理事38名以内 監事3名 参与 若干名
会 費	<ol style="list-style-type: none"> 1 会費 年額3,000円 2 賛助費 1口以上(1口5,000円)
令和5年度予算額	5,088,608円

弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

(令和5年4月1日現在)

役職名	事業所名			
会長	特別養護老人ホーム 大鱈ホーム			
副会長	(有)小野印刷所 長勝寺 (株)アップルランド南田温泉			
監事	(株)青森銀行弘前支店 東北電力ネットワーク(株)弘前電力センター 弘南バス(株)			
第1部会長	平山萬年堂	理事	(株)朝日会館	(有)すとう
第2部会長	(株)菊富士	理事	(株)角長	めん房たけや
第3部会長	ブロッサムホテル弘前	理事	津軽の宿弘前屋	弘前東栄ホテル
第4部会長	健生病院	理事	弘愛会病院	
第5部会長	柴田学園大学	理事	弘前東高等学校	
第6部会長	長勝寺	理事	盛雲院	
第7部会長	弘前航空電子(株)	理事	やまと印刷(株)	
第8部会長	弘前市役所	理事	つがる弘前農業協同組合	
第9部会長	青森県石油商業組合中弘南支部	理事	(株)弘善商会	(株)角弘弘前地区石油支店
第10部会長	北興液化ガス(株)	理事	(株)工藤熊五郎商店	
第11部会長	サムエル保育園	理事	城東保育園	
第12部会長	(株)富士商会	理事	(株)産交	
南部会長	特別養護老人ホーム 大鱈ホーム	理事	(有)ハラコ流通	碓ヶ関開発(株)
北部会長	(株)藤菱	理事	青森リング加工(株)	白戸石油店
西部会長	マエダ防災	理事	柴田自動車整備工場	
東部会長	(株)アップルランド南田温泉	理事	(株)ツガルサイコー (津軽伝承工芸館)	

弘前地区消防防災協会事業

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年 月 日	事 業 内 容
令和4年4月7日	三役会・監査会 於：消防本部
令和4年4月11日	春の火災予防運動 消防訓練視察研修 於：弘前市運動公園（はるか夢球場） 【研修中止】
令和4年4月28日	役員会 於：弘前パークホテル
令和4年5月20日	危険物取扱者試験事前講習会実施 於：黒石消防署 受講者3名
令和4年5月27日	令和4年度定時総会 於：ホテルニューキャッスル 出席者68名
令和4年6月～8月	弘前地区消防事務組合管内の幼稚園、保育園(所)の園児、小学生を対象に防火作品を募集(幼稚園、保育園(所)796点、小学生289点、合計応募数1,085点)
令和4年9月27日	自衛消防技術大会 参加6チーム
令和4年10月5日	秋の火災予防運動ポスターの送付(601事業所)
令和4年10月17日	防火作品最優秀賞表彰式(8名) 於：東消防署
令和4年10月18日	秋の火災予防運動 消防訓練視察研修 於：ベニーマート黒石店 【研修中止】
令和4年10月19日 ～10月31日	防火作品展開催 於：イトーヨーカドー弘前店地下連絡通路 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校(1～6年生) 応募作品数 1,085点 入賞作品 173点
令和4年10月28日	危険物取扱者試験事前講習会実施 於：東消防署 受講者22名
令和4年12月24日	弘前地区消防事務組合に住宅用火災警報器50個寄贈
令和5年3月10日	防災ニュース第52号発行
令和5年3月10日	春の火災予防運動ポスターの送付(598事業所)
随 時	各部会の開催 会員の加入促進

議 会



1 概 要

(1) 定数及び現員数

定数 15人

現員数 15人

(2) 選出方法

ア 弘前市の議会の議員の互選による者 6人

イ 黒石市及び平川市の議会の議員の互選による者 各2人

ウ 関係市町村のうち町村の議会の議員の互選による者 各1人

(3) 任期

組合議員の属している関係市町村の議会の議員の任期による。

(4) 議員名簿

(令和5年4月1日現在)

議席番号	氏 名	組合議員職	選出議会
1	木 村 隆 洋	議会運営委員	弘前市議会
2	野 村 太 郎	議会運営委員	
3	松 橋 武 史	監査委員	
4	石 田 久		
5	工 藤 光 志	議長	
6	田 中 元		
7	三 上 廣 大	議会運営委員	黒石市議会
8	大久保 朝 泰	副議長	
9	石 田 隆 芳	議会運営委員長	平川市議会
10	山 田 忠 利		
11	藤 林 公 正		藤崎町議会
12	今 浩 一	議会運営委員	板柳町議会
13	前 田 一 裕		大鰐町議会
14	平 田 隆 人		田舎館村議会
15	三 浦 清 則	議会運営副委員長	西目屋村議会

(5) 正副議長（統合後）

就任年月日	議 長	副議長
H25.7.24	三 上 秋 雄（弘前市議会）	山 田 紘 一（黒石市議会）
H27.7.22	一 戸 兼 一（弘前市議会）	福 士 幸 雄（黒石市議会）
R元.7.9	鶴ヶ谷 慶 市（弘前市議会）	大久保 朝 泰（黒石市議会）
R3.7.13	工 藤 光 志（弘前市議会）	〃

2 定例会

(1) 回数

毎年2回（11月、2月）

(2) 開催状況（直近5年間）

（単位：回）

	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
定例会	2	2	2	2	2
臨時会	1	1	1	1	1
計	3	3	3	3	3

3 議会運営委員会

(1) 定数 6人

(2) 所管事項

- ア 会期に関すること。
- イ 議事日程に関すること。
- ウ 議事の進行に関すること。
- エ 議会関係例規の制定、改廃に関すること。
- オ 意見書その他議員発議の取り扱いに関すること。
- カ 請願及び陳情の取り扱いに関すること。
- キ その他議会運営及び議長の諮問に関する事項。

(3) 正副委員長（統合後）

就任年月日	委員長	副委員長
H25. 7. 24	山田 尚人（平川市議会）	小野 稔（藤崎町議会）
H26. 11. 18	小野 稔（藤崎町議会）	今 浩一（板柳町議会）
H27. 11. 25	山田 忠利（平川市議会）	〃
H28. 11. 15	〃	内海 繁勝（大鰐町議会）
H31. 2. 20	〃	山崎 洋（田舎館村議会）
R元. 11. 21	石田 隆芳（平川市議会）	三浦 清則（西目屋村議会）

4 議員派遣（統合後）

平成 25 年	目 的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期 間	H25. 10. 2 ～ 10. 4
	場 所	湖北地域消防組合（滋賀県） 京都市市民防災センター（京都府）
	派遣議員数	1 2 人
平成 27 年	目 的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期 間	H27. 8. 24 ～ 8. 26
	場 所	埼玉東部消防組合消防局（埼玉県） 千葉市消防局消防指令センター（千葉県） 東京消防庁第三消防方面本部（東京都）
	派遣議員数	1 2 人
平成 29 年	目 的	大規模な自然災害に対する国及び被災地消防機関の災害対応及び 防災対策等の調査
	期 間	H29. 7. 19 ～ 7. 21
	場 所	東京臨海広域防災公園（東京都） 常総地方広域市町村圏事務組合（茨城県）
	派遣議員数	1 2 人
令和元年	目 的	広域化、多様化する災害への取り組み状況及び消防運営等の調査
	期 間	R 元. 10. 28 ～ 10. 30
	場 所	入間東部地区事務組合消防本部（埼玉県） 総務省消防庁危機管理センター（東京都） 川崎市消防局消防訓練センター（神奈川県）
	派遣議員数	1 4 人
令和 4 年	目 的	高機能消防指令システム共同運用に関する調査 地震災害の教訓を踏まえた防災・減災の取組に関する調査 消防車両の製造過程及び最新装備に関する調査
	期 間	R4. 10. 11～10. 13
	場 所	宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センター（兵庫県） 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター（兵庫県） 株式会社モリタ三田工場（兵庫県）
	派遣議員数	1 3 人

付 録

明治以降の主な火災

(表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載)

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞆師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者 3 名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、2 棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1. 2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞆師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者 3 名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者 1 名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、4 棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼 8 戸、死者 1 名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者 1 名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、4 棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸(菊池別邸)全焼、3 棟 1,386 m ² 焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、8 棟焼損 (5,221 m ²)、死者 5 名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、3 棟焼損 (1,274 m ²)
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼

昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 m ²)
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家 1 戸、非住家 1 棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 m ²)
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ヶ町 10 戸焼損(6,280 m ²)
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町 弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 m ²)
昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 m ²)
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 m ²)
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 m ²)
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 m ²)
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 m ²)
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 m ²)
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷺ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼 (1,376 m ²)、損害額 1 億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷺ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 m ²)、死者 2 名、負傷者 6 名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 m ²)、損害額 1 億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碓ヶ関村 旅館 2 棟全焼(1,692 m ²)、死者 1 名、負傷者 2 名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店 (Nビル 3 階)、96.30 m ² のうち事務室及び管理室 85.16 m ² 焼損、死者 5 名、負傷者 4 名
平成 16 年 1 月 3 日	大鱈町 住宅 1 棟焼損 (132 m ²)、死者 5 名、負傷者 2 名
1 月 26 日	弘前市国吉 温泉旅館 1 棟焼損 (1,077 m ²)、損害額 1 億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市 連続 8 件火災(建物 6、車輛 1、その他 1)
12 月 25 日	常盤村 住宅 1 棟全焼(145 m ²)、死者 3 名、負傷者 1 名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市 住宅等 7 棟焼損(1,667 m ²)、負傷者 1 名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市 飲食店舗兼住宅等 6 棟焼損(505 m ²)、死者 1 名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鱈町 住宅等 18 棟焼損(1,012 m ²)、死者 1 名
6 月 5 日	大鱈町 国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鱈町 作業所兼住宅等 14 棟焼損 (1,848 m ²)、負傷者 4 名
9 月 18 日	黒石市 小学校 1 棟焼損 (48 m ²)、死者 1 名、負傷者 7 名
平成 30 年 1 月 18 日	弘前市 写真館併用住宅 2 棟焼損 (287 m ²)、損害額 5,953 万円)
平成 31 年 3 月 10 日	弘前市 住宅 1 棟全焼 (243 m ²)、死者 4 名、負傷者 1 名

明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成9年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下に大雨あり、土渕川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 （ 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土渕川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 （ 24 日	豪雨により土渕川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鱈町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 （ 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の 4 橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 （ 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟、床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟、死者 3 名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 （ 18 日	台風 21 号の影響により、土渕川氾濫、唐金橋外 4 橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊 7 棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 （ 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失 3 棟、半壊 6 棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者 3 名、損害合計 3 億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 （ 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土渕川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 km の沿岸一帯被害、全壊流失 33 棟、半壊 29 棟、床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円

昭和 52 年 8 月 5 日

集中豪雨により土渕川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者 9 名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円

平成 3 年 9 月 28 日

台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碓ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死者	3			1				
	負傷者	重傷	2	5			1	1	
		軽傷	9	25	3	2	6	1	2
	合計	14	30	3	3	6	2	3	1
家屋被害(棟)	全壊	26	18		3	3		1	
	半壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額(万円)	建物関係	377,380	91,330	41,870	34,560	32,760	13,670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265,371	572,995	47,362	157,030	335,423	71,666
	合計	2,793,085	701,196	307,241	607,555	80,122	170,700	342,773	74,556

平成 9 年 5 月 7 日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 m³/秒)

、

により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

9 日

弘前市	住家一半壊 1 棟、1 部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
岩木町	住家一床下浸水 1 棟、浸水被害一水田 32 a 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相馬村	住家一床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、浸水被害一水田 20 a 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大鰐町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤崎町	浸水被害一りんご園 67ha
碓ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年 9 月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量(気象庁の観測データ)は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

平成 28 年 4 月 17 日

発達した低気圧による暴風により組合管内に大きな被害を受けた。

			弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村
人的被害 (名)	負傷者	重傷	1			1		1		
		軽傷								
	合計	1			1		1			
家屋・農業施設被害 (棟)	全壊	42	14	14	22	14	2	7		
	半壊	22	18		16	18	3	9		
	一部損壊	166	7	79	99	7	31	54		
	合計	230	39	93	137	39	36	70		
損害額(万円)		5,098	118	1,756	2,133	1,069	354	1,576	0	

令和 2 年 9 月 2 日

発達した積乱雲により弘前市観測史上最大となる、1時間当たり 88 ミリの降水量を記録し、床上浸水 12 件、床下浸水 21 件、建物被害 1 件の被害をもたらした。

令和 4 年 8 月 9 日

前線の影響で津軽地方を中心に朝から激しい雨が断続的に降り、弘前市岳地方などで午後 8 時までの日降水量が 252.5 ミリの観測史上最大を記録した。岩木川と西目屋村の大秋川が氾濫危険水位を超え、管内で床上浸水 2 棟、床下浸水 7 棟の被害をもたらした。

歴代消防長等

(令和5年4月1日現在)

※各表の階級欄は就任時の階級

弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部 S24.4.1～S46.3.31
 旧弘前地区消防事務組合 S46.4.1～H25.6.30
 新弘前地区消防事務組合 H25.7.1～

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防長	岩淵 勉	S24. 4. 27		弘前市長兼任
2代	消防司令長	石川 源太	S24. 5. 31	S29. 2. 19	
3代	消防監補	桑田 善太郎	S29. 4. 1	S32. 10. 31	
4代	消防監	上田 勝夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	
5代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	
6代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S50. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S50. 10. 1	S55. 9. 30	(S55. 4. 1 消防正監)
8代	消防正監	工藤 富蔵	S55. 10. 1	S56. 9. 30	
9代	〃	長津 仗	S56. 10. 1	S60. 3. 31	
10代	〃	猪股 清市郎	S60. 4. 1	H元. 3. 31	
11代	〃	中村 昭雄	H元. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	石戸谷 一弘	H 4. 4. 1	H 7. 3. 31	
13代	〃	相馬 達三	H 7. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	小山内 司	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	成田 文英	H14. 4. 1	H19. 3. 31	
16代	〃	尾崎 善造	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
17代	〃	齋藤 則明	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
18代	〃	小田桐 伸一	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	〃	木村 誠二	H23. 4. 1	H26. 3. 31	
20代	〃	福士 文敏	H26. 4. 1	H30. 3. 31	
21代	〃	三浦 良樹	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
22代	〃	長尾 幸喜	H31. 4. 1	R4. 3. 31	
23代	〃	中村 康司	R 4. 4. 1	在職中	

旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部 S27. 4. 1～S29. 6. 30
 旧黒石市消防本部 S29. 7. 1～S46. 3. 31
 旧黒石地区消防事務組合 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8. 10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3. 10	S54. 7. 31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3. 31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3. 31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合 S44. 4. 1～H10. 7. 2
 旧平賀・尾上地区消防等事務組合 H10. 7. 3～H17. 12. 31
 旧平川市消防本部 H18. 1. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53. 12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53. 12. 7	S61. 12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61. 12. 8	H 2. 2. 21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2. 22	H 3. 3. 31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8. 15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8. 16	H 5. 3. 31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3. 31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17. 12. 31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3. 31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部 S42. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4. 29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4. 30	S62. 4. 29	〃
3代		木村章一	S62. 4. 30	H 元.	〃
4代	消防監	阿保小東	H 元. 9. 1	H 2. 3. 31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3. 31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3. 31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3. 31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

弘前地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井 留太郎	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防司令長	小向 清之助	S27. 3. 3	S32. 10. 31	
3代	〃	対馬 庄一	S32. 11. 11	S37. 4. 8	
4代	〃	中村 忠治	S37. 4. 9	S42. 9. 30	
5代	消防司令	工藤 富蔵	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
6代	〃	奈良 正美	S43. 10. 1	S44. 9. 27	
7代	〃	工藤 富蔵	S44. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	消防司令長	福井 正男	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	工藤 富蔵	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	桜庭 達三	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	工藤 富蔵	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	宮崎 孝司	S55. 10. 1	S59. 3. 31	
13代	〃	竹内 實	S59. 4. 1	S63. 3. 31	
14代	〃	西沢 勝三	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
15代	〃	木村 悟	H 2. 4. 1	H 5. 3. 31	
16代	〃	相馬 達三	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
17代	〃	田村 勝照	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	
18代	消防監	佐藤 正蔵	H11. 4. 1	H14. 3. 31	
19代	消防司令長	猪股 進三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	(H15. 4. 1 消防監)
20代	消防監	笹田 将良	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
21代	〃	斎藤 伸夫	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
22代	〃	小田 桐伸一	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
23代	〃	秋元 裕	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
24代	〃	木村 誠二	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
25代	〃	佐藤 健治	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
26代	〃	下山 俊光	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
27代	〃	種市 達男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
28代	〃	阿保 弘毅	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	三浦 良樹	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
30代	〃	長尾 幸喜	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
31代	〃	川村 勝明	H31. 4. 1	R 3. 3. 31	
32代	〃	中村 康司	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	
33代	〃	三浦 直人	R 4. 4. 1	在職中	

方面本部長

弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士文敏	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	工藤 弥司広	H26. 4. 1	H27. 3. 31	弘前消防署長兼任

黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市達男	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	内山 進一郎	H26. 4. 1	H27. 3. 31	黒石消防署長兼任

平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田英造	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	平川消防署長兼任

板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	板柳消防署長兼任 (H26. 4. 1 消防監)

旧黒石地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田 壮一	S39. 1. 1	S46. 3. 31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷 克己	S51. 4. 1	S55. 3. 31	
3代	〃	工藤 龍明	H元 4. 1	H 4. 3. 31	
4代	〃	高樋 浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
5代	〃	工藤 茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
6代	〃	佐藤 信男	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	警防課長兼任
7代	〃	坂本 吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
8代	〃	富谷 勝徳	H10. 4. 1	H11. 3. 31	署長兼任
9代	〃	高田 正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
10代	〃	豊巻 正夫	H12. 4. 1	H13. 3. 31	心得・総務課長
11代	〃	中村 寿	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
12代	〃	森 勇一	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
13代	〃	八木橋 兼司	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
14代	〃	佐藤 友昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
15代	〃	種市達男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	総務課長兼任
16代	〃	内山 進一郎	H24. 4. 1	H25. 6. 30	予防課長兼任

旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	署長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59.12. 31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	菊池今朝男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	工藤栄造	H 8. 4. 1	H14. 3. 31	
13代	〃	山本一雄	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	稲葉良三	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
15代	〃	齋藤満郎	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
16代	〃	山口眞一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
17代	消防司令	山口勇一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
18代	〃	工藤義昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
19代	〃	石田英造	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	署長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H元. 8. 31	〃
7代	〃	竹内秀次	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	〃
8代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
9代	〃	中村徹	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
10代	消防司令	田中諭	H21. 4. 1	H22. 6. 30	署長兼任
11代	〃	阿保久	H22. 7. 1	H24. 3. 31	
12代	〃	三橋一徳	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
13代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	署長兼任

弘前消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	小向 清之助	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防監補	桑田 善太郎	S32. 5. 1	S32. 10. 31	消防長兼任
3代	消防監	上田 勝夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	〃
5代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S42. 9. 30	〃
6代	消防司令長	中村 忠治	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S43. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	〃	工藤 富蔵	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	白取 嘉四雄	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	工藤 富蔵	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	白取 嘉四雄	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	建部 清五郎	S55. 10. 1	S63. 3. 31	
13代	〃	工藤 嘉久	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
14代	〃	鈴木 督朗	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
15代	〃	佐藤 正蔵	H 4. 4. 1	H10. 3. 31	
16代	〃	斎藤 昭雄	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
17代	消防監	笹田 将良	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
18代	〃	斎藤 伸夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
19代	〃	工藤 治	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
20代	消防司令長	長谷川 芳範	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	消防監	成田 裕太郎	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	佐藤 健治	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	久保 豊	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
24代	〃	福士 文敏	H24. 4. 1	H25. 6. 30	
25代	〃	工藤 弥司広	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
26代	〃	一町田 誠	H27. 4. 1	H27. 10. 29	
27代	〃	阿保 弘毅	H27. 10. 30	H27. 11. 30	消防次長兼任
28代	〃	三浦 良樹	H27. 12. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	長尾 幸喜	H29. 4. 1	H30. 3. 31	消防次長兼任
30代	〃	工藤 耕三	H30. 4. 1	H31. 2. 11	消防次長兼任
31代	〃	長尾 幸喜	H31. 2. 12	H31. 3. 31	消防次長兼任
32代	〃	一戸 治	H31. 4. 1	R 3. 3. 31	消防次長兼任
33代	〃	三浦 直人	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	消防次長兼任
34代	〃	石田 純	R 4. 4. 1	R 5. 3. 31	消防次長兼務
35代	〃	三浦 牧也	R 5. 4. 1	在職中	消防次長兼務

東消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	白取 嘉四雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
2代	〃	建部 清五郎	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
3代	〃	土岐 春雄	S55. 10. 1	S58. 3. 31	
4代	〃	工藤 嘉久	S58. 4. 1	S63. 3. 31	
5代	〃	鈴木 督朗	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
6代	〃	赤石 光雄	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	
7代	〃	小山 亮	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	
8代	〃	山田 俊昭	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
9代	〃	斎藤 昭雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
10代	〃	佐藤 正蔵	H10. 4. 1	H11. 3. 31	
11代	〃	小山内 国晴	H11. 4. 1	H12. 3. 31	
12代	〃	山本 正弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	猪股 進三	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
14代	〃	斎藤 伸夫	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
15代	〃	工藤 昇	H16. 4. 1	H20. 3. 31	(H18. 4. 1 消防監)
16代	〃	成田 裕太郎	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
17代	〃	佐藤 健治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
18代	〃	成田 康晴	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	消防監	福士 文敏	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
20代	消防司令長	三上 吾郎	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
21代	消防監	工藤 弥司広	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
22代	〃	阿保 弘毅	H25. 7. 1	H26. 3. 31	
23代	〃	一町田 誠	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
24代	〃	村山 潤一	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
25代	〃	山本 新次	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
26代	〃	川村 勝明	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
27代	〃	中村 康司	H31. 4. 1	R 3. 3. 31	
28代	〃	石田 純	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	
29代	〃	三浦 牧也	R 4. 4. 1	R 5. 3. 31	
30代	〃	石岡 悟	R 5. 4. 1	在職中	

黒石消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	消防長兼任
2代	〃	工藤薫三	S33. 4. 3	S38. 12. 31	
3代		角田壮一	S39. 1. 1	S39. 3. 19	助役兼任
4代	消防司令	田村源五郎	S39. 3. 20	S42. 9. 30	
5代		角田壮一	S42. 10. 1	S43. 3. 31	助役兼任
6代	消防司令長	籾屋正三	S43. 4. 1	S44. 11. 30	
7代	〃	盛重徳	S44. 12. 1	S49. 3. 31	
8代	消防監	角田壮一	S49. 4. 1	S54. 7. 31	消防長兼任
9代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S55. 3. 31	〃
10代	消防司令長	岩谷克己	S55. 4. 1	S62. 3. 31	
11代	〃	高樋浅光	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	工藤茂春	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
13代	〃	佐藤信男	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
14代	〃	坂本吉雄	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
15代	〃	富谷勝徳	H 8. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
16代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
17代	〃	中村寿	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
18代	〃	福士良衛	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
19代	〃	豊巻正夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
20代	〃	佐藤昭秀	H18. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	〃	今清治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	山本茂夫	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	相馬義春	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
24代	〃	村山潤一	H25. 4. 1	H26. 3. 31	
25代	消防監	内山進一郎	H26. 4. 1	H29. 3. 31	方面本部長兼任 (H27. 4. 1 方面本部長兼任解除)
26代	〃	工藤耕三	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
27代	〃	中村康司	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
28代	〃	毛内和幸	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
29代	〃	岩谷和仁	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
30代	〃	今教生	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	
31代	〃	山田勝栄	R 4. 4. 1	在職中	

平川消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59.12.31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	相馬伊佐男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 5. 3. 31	消防次長兼任
12代	〃	工藤栄造	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
13代	〃	一戸武二	H 8. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	福士順蔵	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	稲葉良三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
16代	〃	齋藤満郎	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
17代	〃	山口眞一	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
18代	〃	山口勇一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
19代	消防司令	工藤義昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
20代	〃	一戸武彦	H23. 4. 1	H26. 3. 31	(H25. 7. 1 消防司令長)
21代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
22代	〃	山本新次	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
23代	〃	山口金彦	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
24代	〃	一戸治	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
25代	〃	神孝行	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
26代	〃	石田純	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
27代	〃	三浦牧也	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	
28代	〃	佐藤謙治	R 4. 4. 1	在職中	

板柳消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤 信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田 勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	消防次長兼任
3代		桜庭 敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山 富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村 忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保 小東	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	〃
7代	〃	松山 秀雄	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	消防長心得兼任
8代	〃	会津 武志	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	〃
9代	〃	竹内 秀次	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
10代	〃	佐藤 廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
11代	〃	会津 静男	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
12代	〃	田中 諭	H21. 4. 1	H22. 3. 31	消防次長兼任
13代	〃	三橋 一徳	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
14代	〃	諏訪 孝栄	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
15代	〃	村上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
16代	〃	阿保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任 (H26. 4. 1 消防監)
17代	〃	大川 欽三	H27. 4. 1	H29. 3. 31	(H28. 4. 1 消防監)
18代	〃	佐藤 雅幸	H29. 4. 1	H31. 3. 31	(H30. 4. 1 消防監)
19代	消防監	下山 進	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
20代	〃	三浦 直人	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
21代	司令長	櫻庭 信人	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31	
22代	消防監	石岡 悟	R 4. 4. 1	R 5. 3. 31	
23代	〃	藤田 茂樹	R 5. 4. 1	在職中	

旧弘前地区消防事務組合の沿革

年 月	状 況
昭和 24 年 4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設 職員 34 名
昭和 26 年 8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年 3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年 2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年 5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年 4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年 9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年 8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年 1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に枡形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	枡形分署に 20m 級スノーケル車配備
昭和 46 年 4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碓ヶ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 12 名
	南分署碓ヶ関出張所（碓ヶ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 7 名
昭和 47 年 2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年 2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入 職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 5 名

昭和 49 年	3 月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7 月	弘前消防署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4 月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7 月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8 月	南分署碓ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1 月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4 月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備 職員 23 名 東消防署開設により 2 署 6 分署 2 出張所となる。
昭和 53 年	4 月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7 月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4 月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8 月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森 I C～大鰐弘前 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9 月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碓ヶ関出張所を東消防署碓ヶ関分署に改称 碓ヶ関村大字碓ヶ関字鯨森に碓ヶ関分署庁舎落成移転（碓ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前 I C～碓ヶ関 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1 月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備 職員 10 名 目屋分署、碓ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8 月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3 月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7 月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田 I C まで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m 級はしご付消防自動車配備（4WS） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4 月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

	11月	東消防署に救助工作車配備
昭和63年	4月	通信指令室に通信第一係、通信第二係を設ける。
	12月	藤代分署庁舎新築
平成元年	4月	職員定数改正により職員207名となる。
平成2年	10月	東北自動車道小坂IC開通に伴い、小坂ICまで所管となる。
平成3年	2月	柘形分署庁舎新築（2月業務開始）
	4月	職員定数改正により職員214名となる。
	11月	柘形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成4年	4月	職員定数改正により職員226名となる。
平成5年	3月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成6年	3月	弘前消防署に40m級はしご付消防自動車配備
	4月	職員定数改正により職員247名となる。
平成7年	3月	柘形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成8年	3月	東消防署に高規格救急自動車配備
	4月	職員定数改正により職員256名となる。
平成9年	4月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。 職員定数改正により職員268名となる。
		弘前消防署及び東消防署に救急第一係、救急第二係を新設
平成10年	4月	消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。 消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第一係、消防第二係」に改める。
		北分署に高規格救急自動車配備
平成11年	1月	目屋分署庁舎新築（4月業務開始）
	3月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
	5月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成12年	3月	職員定数改正により職員270名となる。
	4月	女性消防吏員採用
		西分署に高規格救急自動車配備
平成13年	2月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
	4月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
	4月	南分署に高規格救急自動車配備
	12月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成14年	2月	碓ヶ関分署に高規格救急自動車配備
	12月	柘形分署に高規格救急自動車配備
平成15年	1月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
	4月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成16年	4月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1 月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3 月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3 月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が一市三町三村となる。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1 月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碓ヶ関村が脱退し、平成 18 年 1 月 1 日から平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が二市三町二村となる。
	2 月	市町村合併に伴い、2 月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、2 月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が二市二町一村となる。
平成 19 年	3 月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、枅形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3 月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7 月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4 月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4 月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年 4 月 1 日全面供用開始）
平成 24 年	9 月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（J A 共済より寄贈） 西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
	3 月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

旧黒石地区消防事務組合の沿革

(旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 27 年 4 月	黒石町消防本部・署開設、職員 7 名
昭和 29 年 7 月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年 8 月	温湯分署開設、職員 7 名
昭和 44 年 7 月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造 2 階建）
昭和 46 年 4 月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足 消防本部 1、消防署 1、分署 1、職員 38 名（条例定数 57 名）
10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年 4 月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年 4 月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年 4 月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、1 本部、2 消防署、1 分署となる。 消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年 12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更 （鉄骨造平屋建 291.0 m ² ）
昭和 57 年 1 月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建 25.92 m ² ）
昭和 58 年 7 月	消防本部課制を施行する。
平成 6 年 10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成 7 年 10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 2,958.83 m ² ）
11 月	
平成 9 年 4 月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建 417.81 m ² ）
平成 12 年 1 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
4 月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
7 月	消防本部に通信指令課を置く。
12 月	山形分署に広報車配備
平成 14 年 1 月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
平成 16 年 3 月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化－Ⅱ型）配備
4 月	田舎館消防署に高規格救急車配備
7 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈） 田舎館消防署に広報車配備
平成 19 年 1 月	黒石消防本部に査察車配備
4 月	山形分署に救急車（2 B 型）配備
平成 24 年 3 月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。 黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B 型）配備
10 月	（C A F S : 圧縮空気泡装置搭載）
12 月	消防本部に連絡車配備 黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

旧平川市消防本部の沿革

(旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 44 年 4 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設 職員 36 名（条例定数 38 名）
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年 4 月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年 4 月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成 2 年 2 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建） 消防本部課制を施行する。 平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成 4 年 4 月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成 5 年 4 月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成 6 年 4 月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成 7 年 2 月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
4 月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成 8 年 4 月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。 勤務制度を 2 部制から 3 部制とする。 高規格救急車を配備
平成 9 年 4 月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。 消防本部 2 課（総務課、予防課）から 3 課（総務課、予防課、警防課）とする。
10 月	
平成 10 年 3 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
4 月	救急車（2 B 型）配備（J A 共済より寄贈）
7 月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
平成 11 年 4 月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。 消防職員定数改正により職員 68 名となる。
平成 13 年 4 月	消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
9 月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。
平成 17 年 6 月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 18 年 1 月	指揮車を配備 平川市消防本部・平川市消防署発足
平成 19 年 1 月	広報 2 号車を配備
平成 20 年 12 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 22 年 10 月	高規格救急車を配備（日本損害保険協会より寄贈） 広報 1 号車を配備

旧板柳町消防本部の沿革

(旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 42 年 4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設 職員 16 名
昭和 50 年 12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造 2 階建） 職員 30 名
昭和 52 年 4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年 11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更） 板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年 1 月	幼年消防クラブ結成
平成 元年 5 月	資機材搬送車配備
平成 2 年 5 月	司令車配備
平成 4 年 8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成 9 年 12 月	救急車（2 B 型）配備
平成 15 年 2 月	高規格救急車配備
平成 21 年 9 月	消防ポンプ自動車配備（CD-I 型、CAFS：圧縮空気泡装置搭載） 消防職員定数 38 名

消 防 年 報

～令和4年版～

編 集：弘前地区消防事務組合消防本部 総務課

所在地：〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

TEL：0172-32-5102

FAX：0172-33-9117